

〔資料〕

経済財政諮問会議に関するデータ集（上）

梅原英治*

(目次)

資料解題

- 表1-1 経済財政諮問会議の議題と資料（2001年）
- 表1-2 経済財政諮問会議の議題と資料（2002年）
- 表1-3 経済財政諮問会議の議題と資料（2003年）
- 表1-4 経済財政諮問会議の議題と資料（2004年）（以上，本号）
- 表1-5 経済財政諮問会議の議題と資料（2005年）（以下，次号）
- 表1-6 経済財政諮問会議の議題と資料（2006年）
- 表2 経済財政諮問会議の開催回数
- 表3 経済財政諮問会議の開始・終了時刻と会議時間
- 表4 経済財政諮問会議の開始・終了時刻，会議時間別の開催回数
- 表5 経済財政諮問会議の開催場所
- 表6 経済財政諮問会議の議長・議員の推移
- 表7 経済財政諮問会議の出席者
- 表8 経済財政諮問会議の出席者数
- 表9 経済財政諮問会議の出席者数別開催回数
- 表10 経済財政諮問会議の議長・議員別出欠状況
- 表11 経済財政諮問会議への臨時議員その他の出席状況
- 表12 経済財政諮問会議の議事要旨・議事録のページ数
- 補足表 中央省庁再編以降の閣僚の推移

資料解題

拙稿『「三位一体改革」とは何だったのか』（本誌第57巻第2号，2006年7月より連載中）では，経済財政諮問会議を舞台とした「三位一体改革」の政治的決定過程を考察している。そのため，執筆に当たって経済財政諮問会議に関するデータを種々整理し，いくつかのものは拙稿に載せようとしたのであるが，紙数の関係で掲載することができないでいる。

経済財政諮問会議については，「三位一体改革」に限らず，その発足以来「ウォッチング」をしてきており，開催状況などのデータを適宜整理しているため，それらを交えて「経済財政諮問会議に関するデータ集」としてここに掲載することにした¹⁾。

* 本学経済学部教授

以下に紹介するのは、経済財政諮問会議の初会合（2001年1月6日）から小泉内閣最後の会合（2006年9月22日）までの開催経過、議題と資料、開催回数、開始・終了時刻、会議時間、開催場所、議長・議員、出席者と出席者数、議長・議員の出欠状況、議事要旨・議事録などに関するデータである。

経済財政諮問会議に関してはこのように整理されたデータがこれまで公表されたことがないので、本データ集は内閣の「司令塔」として存在意義を増している経済財政諮問会議とそこを舞台に立案・決定される日本の経済・財政政策を研究する上でなにかが役立つこともある。もっとも、本データ集は経済財政諮問会議で決定される経済財政運営の方針の内容にはまったく触れるものではないことをお断りしておかねばならない。また、「ウォッチング」という作業の性格上、表の中にはけっこう“マニアック”なものも含まれている。それも一興とご笑覧願えれば幸いである。以下、各表について簡単に解題する。

* * *

表1-1～1-6は、2001年第1回諮問会議（1月6日）から2006年第21回諮問会議（9月22日）までについて、各年・各回ごとに開催日時・場所・議題・提出資料を整理したものである。いわば総括的な表であり、経済財政諮問会議の議論の経過や提出資料を見るのに便利である。これらの表は上記拙稿の執筆過程でもつねに座右においていたものである。

表2は、経済財政諮問会議の開催状況を整理したものである。経済財政諮問会議は2001年1月6日の初会合から2006年9月22日の小泉内閣最後の会合（第21回諮問会議）までの6年9ヶ月の間に合計194回開催されている。

（1）内閣別にみれば、森内閣7回、小泉内閣187回となる。いうまでもなく、この違いは小泉内閣が長期政権になったことによる。

（2）年別には、2001年35回、2002年42回、2003年30回、2004年35回、2005年31回と年間30数回開催されている。2002年が42回と多いのは、小泉内閣誕生後の景気悪化や金融不安に対し、税制改革や経済活性化戦略などの構造改革を拡大・加速化するとともに、不良債権処理などの必要性が一層高まったため（政治的には田中真紀子外相更迭に伴う支持率低下が人気回復策を求めたため）と推量される。

（3）月別にみれば、2001～2005年の5年間をみると、11月が24回、12月が22回で、この2ヶ月の開催回数が多く、1月、3月、7月が各10回と少ない（月2回平均）。11月と12月が多いのは来年度予算がこの両月で編成されるからである。

（4）曜日別にみれば、経済財政諮問会議は土曜日・日曜日にはほとんど開かれず（経

1) 以下の表は、経済財政諮問会議のホームページ、各回の議事要旨、議事録を参考にして作成したものである。本文で書いたように、議事要旨は会議終了後2、3日したら公表されているが、議事録の公表は4年後とされているので、現時点（初校2006年10月22日）では、2002年第27回諮問会議（9月20日）までしか見ることができない。また、2001年の第26回諮問会議（11月9日）と第27回諮問会議（11月20日）については議事要旨が公表されていない（議事録は公表されている）。なお、議事録によって議事要旨の修正が行われることを留意されたい。

済財政諮問会議初会合の2001年1月6日のみ土曜日開催）、ウィークデーに開かれている。2001～2005年の5年間でみれば、多い順に、①金曜日46回（26.6%）、②火曜日42回（24.3%）、③木曜日34回（19.7%）、④水曜日28回（16.2%）、⑤月曜日22回（12.7%）となり、金曜日と火曜日に多く開催されている。ただし、これも年によって異なり、2001年は火曜日が多く（34.3%）、2002年は金曜日に集中されていたが（47.6%）、一転して2003年になると分散的になり（木曜日が最多で8回、22.9%にすぎない）、2004年も分散的だが火曜日がやや多く10回（28.6%）、2005年は火曜日（38.7%）、2006年は水曜日に集中されている（9回、42.9%）。

表3は、「経済財政諮問会議の開始・終了時刻と会議時間」を整理したものである。経済財政諮問会議は194回開催されたが、会議時間によると総計246時間27分で、1回平均1時間16分であった。言い換えれば、たかだか1時間ちょっとで国の経済財政運営の重要方針が決定されているわけである。もちろん、そこに至るまでの楽屋裏ではもっと長い時間をかけて様々な調査・分析・調整が行われている。その意味では、経済財政諮問会議の場というのはいわゆる「小泉劇場」の表舞台なのであって、そこでの議論は楽屋裏での議論を経たものであるということをも十分認識しておかねばならないであろう。たとえば「竜虎の対立」と称された塩川財務大臣と片山総務大臣の「三位一体改革」をめぐる激論も、一方では急進的な構造改革を求める財界や大都市上層市民層と、他方では税源移譲による税源移譲財源の充実確保を求める地方六団体や地方圏の住民の双方を多分に意識した高度に政治的な議論なのであって、それぞれの団体や階層が抱える不平不満の「ガス抜き」としての意味合いが込められたものであることを見ておく必要がある。

平均時間で見れば、2004年が1時間23分と最も長く、ついで2002年1時間22分、2001年1時間19分、2003年1時間15分、2006年1時間4分、2005年1時間3分となる。最近2年間は以前と比べて会議時間が全体的に短くなっているようだ。

会議時間が最も長かったのは2002年第24回諮問会議（8月29日）の2時間41分で、16時35分に開催され19時16分に終了した。この日は「制度・政策改革集中審議」の2日目で、国土交通省と厚生労働省の改革案が議論されたときである。ついでながら、翌日の第25回諮問会議も長く、第24回より1分短い2時間40分（17:00～19:40）である。集中審議のときは会議時間が長くなるようである。

他方、会議時間が最も短かったのは2003年第15回諮問会議（6月26日）で、わずか7分（17:45～17:52）であった。この日は「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の諮問・答申が行われただけである。2番目に短いのは、2001年第31回諮問会議（12月4日18:10～18:20）と2005年第16回諮問会議（6月21日18:02～18:12）の各10分で、前者では「平成14年度予算編成の基本方針」が諮問・答申され、後者では「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」が諮問・答申された。このように、基本方針（いわゆる骨太の方針）などが「調査・審議」を終えて諮問・答申されるときは会議時間が短くなる傾向がある。

表4は、表3の開始・終了時刻と会議時間を開催回数について整理したものである。

(1) 開始時刻別に見ると、経済財政諮問会議は17時台に始まることが最も多く、194回のうち108回(55.7%)で、次に16時台が39回(20.1%)となる。ただし、これも年によって異なり、2005年を除けば、一般に17時台に開かれることが多い。しかし、2005年は16時台が20回(64.5%)と、3回のうち2回は16時台に開かれていた。開始が最も早かったのは2004年第15回諮問会議(7月21日)で、このときは午前10時1分に開催され、11時53分に終了している。

(2) 終了時刻別に見ると、経済財政諮問会議は18時台に終わることが最も多く81回(41.8%)で、次に19時台が70回(36.1%)となる。最も終了時刻が遅かったのは2004年第18回諮問会議(8月2日)で、このときは18時35分に始まり、20時48分に終了している。

(3) 会議時間別(30分刻み)に開催回数を見ると、60~89分が65回(33.5%)で最も多く、次に90~119分55回(28.4%)、30~59分38回(19.6%)、120分以上19回(9.8%)、30分未満17回(8.8%)という順になる。

表5は、「経済財政諮問会議の開催場所」を整理したものである。経済財政諮問会議は首相官邸で開催されるが、2002年4月に新しい官邸の使用が開始されたため²⁾、それに伴い官邸内での開催場所も移動している。旧官邸時代³⁾は2001年発足時の初会合のときにただ1度だけ2階の「大客間」⁴⁾が使用されたが、その後は1階南側にある「大食堂」⁵⁾が使

2) 新しい首相官邸について、官邸のホームページにある「首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「平成14年4月新官邸の本館が使用開始。73年間の風雪に耐えてきた旧官邸にかわり、新たな歴史がはじまりました。／新官邸の敷地面積は旧官邸の1.6倍、延べ床面積は2.5倍。本館建物は地上5階、地下1階。迎賓機能や会議室などが充実され、危機管理対応の専門のスペースなども整備されました。／デザイン面では、日本らしさを感じられるような簡素な美しさを追求。日本建築の素材である『木』『石』『和紙』『ガラス』『土(壁)』の美しさを活かしたつくりになっています。／2階から屋上までつながる中庭は、『竹』と『石』(切り出したままの花崗岩)の組み合わせ。『竹』は『天に向かって伸びる未来への挑戦』、『石』は『大地に腰を据えた力強さと安定感』を表しています。／旧官邸ではミミズクがシンボルでしたが、新官邸では、『竹』と『石』がその役割を引き継いでいるといえます。／新しい世紀を迎えて、日本の政治の顔にふさわしい新官邸の誕生といえるのではないのでしょうか。」(首相官邸のホームページ http://www.kantei.go.jp/jp/vt/main/01/photo01_1.html)

3) 旧首相官邸について、官邸のホームページにある「旧首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「これまでの総理官邸は、昭和4(1929)年3月18日に竣工されました。主要部分は鉄筋コンクリート2階建て、本館延べ面積は約1568坪。／それ以前の総理官邸は、その北側にありました。西洋風の木造2階建てで、太政大臣官舎として使われていたものを内閣制度の創設とともに総理官邸に転用したものです。／大正12(1923)年9月1日、関東大震災で中央省庁の建物が深刻な被害を受けたことから、政府は『中央諸官衙(かんが:官庁のこと)建築計画』を立案し、官邸はトップバッターとして新築されることになりました。／総理官邸は、旧帝国ホテル(大正12年7月竣工)を設計したアメリカ人建築家フランク・ロイド・ライトのものとよく混同されますが、実際の設計者は大蔵省管轄財政局工務部技官の下元連(しももとむらじ)。ライトの様式は当時の日本の建築家たちに大きな影響を与えていましたが、下元氏は『ライトの模倣ではない。ライト風です。』と、のちの回顧談で話しています。ただ耐震性は、竣工披露宴の日に震災に遭ってもビクともしなかった旧帝国ホテルなみに考慮されたとのこと。」(首相官邸のホームページ <http://www.kantei.go.jp/jp/vt2/main/00/photo-zentai01.html>)

われた。新官邸に移ってからは4階の「大会議室」⁶⁾で行われるのが通常で、たまに（5年間で8回だけ）2階の「小ホール」⁷⁾が使用され（8回）、1度だけ（2002年9月9日の

- 4) 旧首相官邸2階の「大客間」について、官邸のホームページにある「旧首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「[旧] 官邸の二階北側には『大（おお）客間』がありました。同じ二階の南側には総理執務室がありますが、官邸は南北で段差があるため同じ二階でも高さが違います。執務室から『大客間』へ向かうには、廊下の途中にある数段の階段を登ることになり、『大客間』は官邸で最も『高い』場所にあったといえます。／北側に面した窓からは国会議事堂や銀杏並木がよく見え、四季折々の変化が楽しめました。／『大客間』の広さは111平方メートルで、官邸では晩餐会などが催される大ホール、会議などが開かれる大（おお）食堂に次いで3番目に広い部屋でした。／かつては、総理の内外賓客との会談や記者会見の場としても使われていましたが、その後は、各種閣僚会議などに使われるようになりました。」（首相官邸のホームページ <http://www.kantei.go.jp/jp/vt2/main/04/photo-okyakuma01.html>）
- 5) 旧首相官邸1階の「大食堂」について、官邸のホームページにある「旧首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「正面階段の脇の小さな階段を下りたところに、大食堂（おおしょくどう）、喫煙室、そして小食堂が並んでいました。／大食堂は、各国首脳との会食や各種のレセプションなどに使われましたが、食堂といっても食事をする場合だけでなく、実際は、会議の場として毎日のように使われていました。『経済財政諮問会議』や『IT戦略本部』、『副大臣会議』や『事務次官等会議』などが代表的な例です。／このような重要な会議に使われる部屋が、『大食堂』という日常的な名前と呼ばれていたのは、何か不思議な感じがします。／歴史を辿ると、昭和31（1956）年には、国際連合加盟を祝う祝賀会が、そして平成5（1993）年の東京サミットでは、各国首脳を招いてのワーキングディナーもここで開かれました。／官邸は、会議室が少ないため、大食堂も万能部屋として有効に使用されていました。」（首相官邸のホームページ <http://www.kantei.go.jp/jp/vt2/main/02/photo-osyokudo01.html>）
- 6) 新首相官邸4階の「大会議室」について、官邸のホームページにある「首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「官邸の執務機能のなかで、最も充実したのは会議室かもしれません。旧官邸に比べ、会議室の数が大幅に拡充されました。／4階にある大会議室は、多目的に利用され、官邸の中でも使用頻度の高い会議室です。この会議室の特徴的な機能は、正面の壁に取り込まれた『大型スクリーン』で画像情報を用いての会議が可能になっていることです。／新官邸になってはじめて行われた平成14年9月の総合防災訓練でも、この会議室で開かれた関係閣僚会議や緊急災害対策本部会議などで、大型スクリーンが活用されました。／機能の向上に加え、部屋の壁も明るい色調のトチの木の集成材が使われ、床も明るいグレーの絨毯が敷かれています。窓側は全面ガラス張りで、開放感のあるしつらえになっています。／また、大会議室の入口の脇には、素焼きの石を積み上げた壁があります。ここは、総理が記者たちからインタビューを受ける場所として、テレビを通して見たことのある方も多いのではないのでしょうか。」（首相官邸のホームページ http://www.kantei.go.jp/jp/vt/main/03/photo04_1.html）
- 7) 新首相官邸2階の「小ホール」について、官邸のホームページにある「首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「2階には、大ホールと並んで小ホールがあります。華麗な大ホールに比べて、小ホールは簡素な『和』を感じさせるしつらえになっています。／とくに、落ち着いたグリーンの地に黄色い稲穂がそよぐ絨毯や、ススキをモチーフにした模様が刻まれた土の塗り壁などは、日本の原風景を連想させます。桜をあしらった華やかな『春』をイメージした大ホールとは対照的に、小ホールは落ち着いた『秋』のイメージで統一されています。／天井や壁に使われている杉材には、年輪の白い部分が削られて、茶色い部分が浮き上がる『うづくり』という仕上げの技法が施され、部屋全体に日本建築らしい雰囲気は漂っています。また、窓側の壁は全面ガラス張りで、南庭完成の折には、自然との一体感が楽しめるようになっています。／小ホールでは、副大臣会議

第26回諮問会議) 3階の「南会議室」⁸⁾が使われたことがある。

表6は、「経済財政諮問会議の議長と議員」を整理したものである。経済財政諮問会議の組織・メンバーについては、内閣府設置法(1999年7月16日法律第89号)では、第20条で「会議は、議長及び議員十人以内をもって組織する」と定めており、11名以内で構成されることになっており、これまでのところ議長と10名の議員で構成されている。議長については、第21条で「内閣総理大臣をもって充てる」とされている。議員については、第22条第1項で、①内閣官房長官(第1号)、②経済財政政策担当大臣(第2号)、③各省大臣のうちから、内閣総理大臣が指定する者(第3号)、④法律で国务大臣をもってその長に充てることとされている委員会の長及び庁の長のうちから、内閣総理大臣が指定する者(第4号)、⑤前二号に定めるもののほか、関係する国の行政機関の長のうちから、内閣総理大臣が指定する者(第5号)、⑥関係機関(国の行政機関を除く)の長のうちから、内閣総理大臣が任命する者(第6号)、⑦経済又は財政に関する政策について優れた識見を有する者のうちから、内閣総理大臣が任命する者(第7号)を掲げているが、③～⑥の枠についてはこれまでのところ総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、日本銀行総裁が就任している。また、⑦については第22条第3項でその数が「議員の総数の十分の四未満であってはならない」と定められており、これまでのところ財界(日本経済団体連合会と経済同友会)から2名、学界(東京大学と大阪大学の経済学者)から2名の計4名が就任している。

2006年9月22日の小泉内閣最後の会合である第21回諮問会議までで、議長である内閣総理大臣には森喜朗氏→小泉純一郎氏の2人が就任した。議員である内閣官房長官には福田康夫氏→細田博之氏→安倍晋三氏の3人、経済財政政策担当大臣には額賀福志郎氏→麻生太郎氏→竹中平蔵氏→与謝野香氏の4人、総務大臣には片山虎之助氏→麻生太郎氏→竹中平蔵氏の3人、財務大臣には宮澤喜一氏→塩川正十郎氏→谷垣禎一氏の3人、経済産業大臣には平沼赳夫氏→中川昭一氏→二階俊博氏の3人、日本銀行総裁には速水優氏→福井俊彦氏の2人が就任した。有識者議員(一般に「民間議員」と呼ばれている)は発足時から牛尾治朗氏(ウシオ電機株式会社代表取締役会長、経済同友会の元代表幹事で特別顧問[終身幹事])、奥田碩氏(トヨタ自動車株式会社取締役会長[2006年6月から同社取締役

や事務次官等会議など様々な会議が開かれます。小ホールの広さは全体で約200平方メートルですが、可動式の仕切り壁によって、広さを調整することができ、多目的に利用できる空間となっています。」(首相官邸のホームページ http://www.kantei.go.jp/jp/vt/main/02/photo04_1.html)

- 8) 新首相官邸1階の「南会議室」について、官邸のホームページにある「首相官邸バーチャルツアー」は次のように書いている。「官邸の正面玄関をに入って左手に南会議室があります。／ここは、政府与党の政策協議や様々な懇談会などに使用されています。／4階の大会議室や2階の大ホール・小ホールなどと比べると、それほど広くはありませんが、エントランスに近い場所に位置することから、総理が出席する行事・会議のほか、各種の連絡会議にも使われるなど、とても使い勝手の良い会議室です。／この部屋の壁には、旧官邸で使用されていたものをそのまま使用しています。／新しい部屋にもかかわらず、何か懐かしさと落ち着きを感じるの、このためでしょうか。」(首相官邸のホームページ http://www.kantei.go.jp/jp/vt/main/01/photo04_1.html)

相談役], 日本経営者団体連盟会長, その後経済団体連合会との合併に伴い日本経済団体連合会会長 [2006年5月まで], 本間正明氏 (大阪大学大学院経済学研究科教授), 吉川洋氏 (東京大学大学院経済学研究科教授) の4人で変わらない。

したがって, 経済財政諮問会議で在任期間が一番長いのは民間議員の4人ということになり, ついで4ヶ月ほど短くて小泉首相と竹中平蔵氏 (経済財政担当相→総務相) が続く。逆に, 最も在任期間が短かったのは初代経済財政政策担当大臣の額賀福志郎氏で, KDS事件で辞任したが, 在任わずか17日間であった。

表7-1~7-6は, 「経済財政諮問会議の出席者」を各年・各回について整理したものである⁹⁾。内閣府設置法は, 第22条第2項で, 「議長は, 必要があると認めるときは, 第20条及び前項の規定にかかわらず, 前項第1号から第4号までに掲げる議員である国務大臣以外の国務大臣を, 議案を限って, 議員として, 臨時に会議に参加させることができる」と定めて, 臨時議員の参加を認めるとともに, 第24条で「会議は, その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは, 関係する審議会その他の関係行政機関の長に対し, 資料の提出, 意見の開陳, 説明その他必要な協力を求めることができる」(第1項), 「会議は, その所掌事務を遂行するため特に必要があると認めるときは, 前項に規定する者以外の者であって審議の対象となる事項に関し識見を有する者に対しても, 必要な協力を依頼することができる」と定めて, 議員・臨時議員以外のその他の参加を認めている。

2001年はその後の年と比べると議長・議員だけで行うことが多く, 35回のうち18回 (51.4%) が議長と議員というメンバーだけで行われた。臨時議員の参加があったのは17回 (48.6%), その他の参加者があったのは1度だけだった (2.9%)。しかし, 2002年以降, 臨時議員やその他の参加が増えてくる。

2002年では, 議長・議員のみの諮問会議は17回 (40.5%), 臨時議員が参加した会議は24回 (57.1%), その他の参加があった会議は13回 (31.0%) であった。

2003年度では, 議長・議員のみの諮問会議は7回 (23.3%), 臨時議員が参加した会議は18回 (60.0%), その他の参加があった会議は17回 (56.7%) であった。

2004年では, 議長・議員のみの諮問会議は9回 (25.%) , 臨時議員が参加した会議は18回 (51.4%), その他の参加があった会議は20回 (57.1%) であった。

2005年では, 議長・議員のみの諮問会議は9回 (29.0%), 臨時議員が参加した会議は21回 (67.7%), その他の参加があった会議は16回 (51.6%) であった。

2006年では, 議長・議員のみの諮問会議は7回 (33.3%), 臨時議員が参加した会議は12回 (57.1%), その他の参加があった会議は8回 (38.1%) であった。

9) なお, 経済財政諮問会議には, 「オブザーバーとして, 内閣府副大臣, 内閣官房副長官, 官房副長官補, 内閣府事務次官, 内閣府社会経済総合研究所長が出席」し, また「議事の内容を関係省庁に持ち帰って伝える」ため「メンバー省庁の局長級を中心に5~6名に限定」して官僚が出席しているが (太田弘子『経済財政諮問会議の戦い』東洋経済新報社, 2006年, 14ページ), 内閣府社会経済総合研究所長を除いて, これらの人数は表7~表9, 表11には含めていない。社会経済総合研究所長については議事要旨に名前が載ることがあるので, 参加人数に含めている。

表8は、表7を人数で整理したものである。これまで194回の参加人数（議長・議員・臨時議員・その他）は延べ合計で2393人、平均すると1回12.3人である。内訳は、議長193人（つまり欠席が1回あった……後述）、議員1884人（平均9.7人、つまり欠席が延べ56回あった）、臨時議員202人（平均1.0人）、その他114人（平均0.6人）である。

年別に見ると、2001年延べ413人（平均11.8人）、2002年延べ508人（平均12.1人）、2003年延べ375人（平均12.5人）、2004年延べ435人（平均12.4人）、2005年延べ396人（平均12.8人）、2006年（第21回諮問会議まで）延べ266人（平均12.7人）で、平均人数は後になるほど多くなっている。

表9は、参加人数別に開催回数を整理したものである。最も多いのは11人のときで70回（36.1%）、次に12人で40回（20.6%）、13人26回（13.4%）、14人23回（11.9%）などとなっている。

参加者が最も多かったのは2006年第14回諮問会議（6月7日）のときで20人であった。このときは議長・議員のフル・メンバー11名のほかに、臨時議員2名、その他が7名参加した。その他参加者の人数が多いのは、地方六団体からヒアリングが行われたため、地方6団体から代表者6名が参加したからである。

他方、参加者が最も少なかったのは2002年の第1回諮問会議（1月18日）と第20回諮問会議（7月26日）のときで、議員が2名欠席して9名であった（前者は経済産業大臣と奥田議員、後者は日銀総裁と奥田議員が欠席）。

表10は、議長と議員の出欠状況を整理したものである。議長では、森首相は皆勤、小泉首相は187回のうち1回欠席（出席率99.5%）である¹⁰⁾。

議員では、内閣官房長官の3人と経済財政政策担当大臣の4人は皆勤。総務大臣では片山大臣は5回欠席（出席率94.8%）、麻生大臣と竹中大臣は皆勤。財務大臣では、宮澤大臣は6回のうち1回欠席（出席率85.7%）、塩川大臣は89回のうち1回欠席（同98.9%）、谷垣大臣は皆勤である。経済産業大臣では、平沼大臣は96回のうち9回欠席（出席率90.6%）、中川大臣は69回のうち12回欠席（同82.6%）、二階大臣は29回のうち3回欠席（同89.7%）である。日本銀行総裁では、速水総裁は82回のうち2回欠席（出席率97.6%）、福井総裁は112回のうち4回欠席（同96.4%）である。有識者議員では、牛尾議員は5回欠席（出席率97.4%）、奥田議員は10回欠席（同94.8%）、本間議員は3回欠席（98.5%）、吉川議員は1回欠席（99.5%）である。なお、麻生太郎氏と竹中平蔵氏は2つの大臣ポストに就いているが、いずれのときも皆勤である。したがって、出席率が最も悪いのは中川経済産業大臣で、ほぼ5回に1回は休んでいる。

出席回数が最も多いのは吉川議員で193回、ついで本間議員191回、牛尾議員189回、竹

10) この欠席は、2001年第21回諮問会議（9月26日）のときのもので、訪米のために欠席し、内閣府設置法第21条第4項、「経済財政政策担当大臣が置かれている場合において議長に事故があるときは、前項の規定〔議長に事故があるときは、内閣官房長官が、その職務を代理する……梅原〕にかかわらず、経済財政政策担当大臣が、内閣官房長官に代わって議長の職務を代理する」に基づき、竹中経済財政政策担当大臣が議長を代理した（第21回経済財政諮問会議議事要旨、2001年9月26日）。

中大臣187回、小泉総理186回、奥田議員184回と続く。

出席回数が少なかったのはKDS事件で辞任した額賀大臣の3回、ついで宮澤大臣6回、森総理7回である（額賀大臣と交代した麻生大臣は4回だが、のちに総務大臣に就任したので通算すれば73回——このほか外務大臣として臨時議員の出席が6回ある）。

表11は、臨時議員とその他の参加状況を整理したものである。臨時議員では、出席が最も多いのは行政改革担当・規制改革担当・構造改革特区担当・地域再生担当・産業再生担当大臣で延べ52回¹¹⁾、ついで厚生労働大臣50回、文部科学大臣20回、農林水産大臣18回、国土交通大臣18回などとなっている。これは経済財政諮問会議が行政改革や規制改革、社会保障制度改革に力を入れてきたことを表している。

その他の参加者は大きく2種類に分かれ、1つは欠席した大臣の代理としての参加であり、経済産業大臣は欠席が多いので、経済産業副大臣が20回出席しているのが目立っている。もう1つは、「関係する審議会その他の関係行政機関の長」およびその他の参加であり、ここでは総合規制改革会議議長、のち改組され規制改革・民間開放推進会議議長、具体的には宮内義彦氏（オリックス株式会社取締役兼代表執行役会長・グループCEO）が合計21回と際だって多いことが目を引く。

表12は、経済財政諮問会議の議事要旨・議事録のページ数を整理したものである。「経済財政諮問会議運営規則」（2001年1月6日）及び「経済財政諮問会議における情報の公開等に係る運営細則」（2001年2月27日）によれば、議事要旨は「会議が開催された翌日から起算して3日以内に公表するよう努めなければならない」（運営細則第2条）とされているが、議事録の公表は4年後とされており（運営規則第8条、運営細則第3条）、本稿執筆時点（2006年9月10日）では、2002年第25回諮問会議（8月30日）分までしか公表されていない。

議事要旨について、これまで192回分（2001年の第26回と第27回が非公開）の総ページ数は2235ページで、1回平均11.6ページである。分量が多い順に並べると、2004年498ページ、2002年478ページ、2005年360ページ、2003年349ページ、2001年280ページ、2006年（9月22日まで）270ページで、1回平均のページ数では2004年14.2ページが最も多く、ついで2003年と2005年、2006年各11.6ページ、2002年11.4ページ、2001年8.5ページとなる。最もページ数が多いのは2004年第21回諮問会議（8月26日）で、議事要旨だけで24ページもあるから、議事要旨は50ページ近いものと推測される。逆に、最もページ数が少ないのは2003年第15回諮問会議（6月26日）で、わずか2ページにすぎない。前述のとおり、このときの会議時間は最短の7分であり、議事要旨が短いのも当然であろう。

議事録は、前述のとおり2002年の途中までしか公表されていない。2001年について見れば、35回分の議事録の総ページ数は763ページで、1回平均21.8ページもあり、事務局の苦労が想起される。最多は第8回諮問会議の39ページ、最小は第31回諮問会議の3ページ

11) これらの役職については1人の大臣が複数兼任していることがほとんどで、しかもその組み合わせが様々なため（補足表の「中央省庁再編後の閣僚の推移」を参照されたい）、一緒に扱うことにした。

である。

議事要旨のページ数を議事録のページ数で割った「要約率」を見ると、平均39.8%、つまり議事要旨は議事録を4割程度にまで要約したものである。最も要約率が高いのは第1回諮問会議（1月6日）の20.0%で、議事要旨は議事録の5分の1にすぎない。逆に、最も要約率が低いのは第31回諮問会議（12月4日）の66.7%で、全体の3分の1が圧縮されたにとどまる（会議時間はわずか10分だから要約のしようもないのかもしれない）。全体的に見れば、初期の頃（第10回くらいまで）の要約率が高くて2割台から3割台が続くが、その後は要約率がやや緩くされたようで4割台が多くなり、2002年に入ると5割台が多くなっている。

以上の表を合わせると、これまでの経済財政諮問会議の平均的な姿というのは、平均月2回（予算編成前の11月と12月はほぼ毎週1回）、首相官邸の4階大会議室に、議長である内閣総理大臣、議員として内閣官房長官・経済財政政策担当大臣・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣（欠席がちだが）・日本銀行総裁の6名、有識者議員として牛尾・奥田・本間・吉川の4氏が集まり、ほかに臨時議員が1名（行政改革担当大臣または規制改革担当大臣または厚生労働大臣が多い）、2回に1度の割合でその他の参加者（規制改革・民間開放推進会議の宮内氏であることが多い）がいて、金曜日または火曜日の午後5時台に始まり、1時間あまり審議して午後6時台に終わり、そして会議の内容を4割ほどに要約された議事要旨が2、3日後に公表されるというものである。

* * *

ここに掲げた表は、経済財政諮問会議が決定してきた経済財政運営に関する様々な方針の内容に関わるものではない。その検討については別の機会を期したい¹²⁾。

なお、発言者・発言回数別の表や提出資料関係の表も作成しつつあるのだが、前者については議事要旨だけでは正確に把握できず、議事録に依らねばならないが、議事録の公表が2002年の途中にとどまっているため（注1参照）、また後者については資料の数の計算基準が定まらないため、いまのところ公表するに至っていない。

（2006年9月10日）

（追記）2006年9月26日、安倍晋三内閣が発足し、経済財政諮問会議のメンバーも交替になった。新しいメンバーは次の通り。

議長：安倍晋三（内閣総理大臣）、議員：塩崎恭久（内閣官房長官）、大田弘子（内閣府特命担当大臣〔経済財政政策〕、前・政策研究大学院大学大学院政策研究科教授、元・内閣府政策統括官〔経済財政分析担当〕）、菅義偉（総務大臣）、尾身幸次（財務大臣）、甘利明（経済産業大臣）、福井俊彦（日本銀行総裁）、有識者議員：伊藤隆敏（東京大学大学院

12) 経済財政諮問会議における「三位一体改革」の取り組みについては、拙稿『「三位一体改革」とは何だったのか』本誌第57巻第2号、2006年7月より連載中を参照されたい。経済財政諮問会議を舞台にした小泉構造改革の初発の局面の分析については、拙稿「小泉改革をどう読むか」『賃金と社会保障』第1304号、2001年8月下旬号、を参照されたい。

経済学研究科教授兼公共政策大学院教授，元・大蔵省副財務官〔大臣官房参事官〕，丹羽宇一郎（伊藤忠商事株式会社取締役会長），御手洗富士夫（キヤノン株式会社代表取締役会長，社団法人日本経済団体連合会会長），八代尚宏（国際基督教大学教養学部教授，元・日本経済研究センター理事長）。

安倍内閣発足後の最初の経済財政諮問会議（2006年第22回諮問会議）は10月13日に開催された。冒頭，安倍首相は経済財政諮問会議を，安倍首相の掲げる「戦後レジームからの脱却」と「美しい国」づくりの「メインエンジン」と位置付けた¹³⁾。経済財政諮問会議の今後の動向が注目される¹⁴⁾。

（2006年10月22日初校）

-
- 13) 第22回経済財政諮問会議議事要旨，2006年10月13日。なお，安倍首相の考え方については，安倍晋三『美しい国へ』（文藝春秋，2006年7月）；PHP研究所編『安倍晋三対論集——日本を語る——』（PHP研究所，2006年4月）；安倍晋三・岡崎久彦『この国を守る決意』（扶桑社，2004年1月）；栗本慎一郎・安倍晋三・衛藤晟一『「保守革命」宣言——アンチ・リベラルへの選択——』（現代書林，1996年10月），および「第165回国会における安倍総理大臣所信表明演説」（<http://www.kantei.go.jp/jp/abespeech/2006/09/29syosin.html>），自由民主党総裁選挙での政権構想「美しい国，日本——いま，新たな国づくりのとき」（http://www.jimin.jp/jimin/jimin/sousai06/sousai/profile/pdf/syoken_abe.pdf）が参考になる。

渡辺治氏（一橋大学大学院教授，政治学・日本政治史・憲法）は，「安倍の政治思想は，ナショナリズムと新保守主義ということになると思います。戦後の政治家の中でナショナリズムと新保守主義を前面に出した政治家というのは，実は初めてなのです。これは『画期的』な出来事です」と語っている（渡辺治「ポスト小泉＝安倍新政権とこの国のゆくえ」『季刊・自治と分権』第25号，2006年10月，32～33ページ）。

- 14) 新しく経済財政政策担当大臣に就いた太田弘子氏の経済財政諮問会議についての考え方については，太田弘子『経済財政諮問会議の戦い』（前掲）が参考になる。

太田氏は経済財政諮問会議の有識者議員であった本間正明氏を「師」とする「大阪学派」の有力メンバーとして，内閣府政策統括官（経済財政—景気判断・政策分析担当）付参事官（企画・政策効果分析担当），同大臣官房審議官（経済財政—景気判断・政策分析担当），同政策統括官（経済財政分析担当）を歴任して，経済財政諮問会議を司令塔とする小泉構造改革を支えてきた。

清水真人氏（日本経済新聞編集委員）は，「諮問会議は霞ヶ関の各省から目の敵にされがちな存在。そこへ民間から『落下傘降下』して政策を動かす立場に就いた『大阪学派』の面々には，官僚とほどほどで折り合い，いずれは各省の審議会でも有力なポストに就くといった学者の『安定コース』には戻れない覚悟も必要になっていた」と書かれているが（清水真人『官邸主導——小泉純一郎の革命——』日本経済新聞社，2005年12月，272ページ），いまや本間氏は続投予定だった石弘光氏を押しつけて次期税制調査会会長に就き（本間氏と同じく有識者議員であった吉川洋氏も税調委員に就任），太田氏は経済財政担当大臣に起用された。清水氏が言われることとは逆に，経済財政諮問会議に関わることは学者として「安定コース」そのもの（あるいはそれ以上の「出世コース」）になりつつあるかのようだ。

表1-1 経済財政諮問会議の議題と資料(2001年)

開催	議題	配布資料等
第1回 1月6日(土) 14:15~15:45 官邸大客間	(1)経済財政諮問会議運営規則 (2)その他 1. 経済財政諮問会議の今後の審議方針について 2. 経済の現状と当面の対応について	説明資料: 内閣総理大臣ご挨拶 資料1 経済財政諮問会議議員名簿 資料2 経済財政諮問会議運営規則(案) 資料3 日本経済の現状 資料4 牛尾議員配布資料
第2回 1月18日(木) 16:45~18:22 官邸大食堂	(1)景気の現状について (2)今後の進め方について (3)その他	資料1 第1回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 景気の現状について 資料3 牛尾議員配布資料 資料4 奥田議員配布資料
第3回 2月2日(金) 16:31~18:10 官邸大食堂	(1)今後の進め方 (2)景気の現状について (3)その他	資料1 第2回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 内閣府設置法(抄)及び経済財政諮問会議令 資料3 経済財政諮問会議において検討すべき事項についての各議員の意見 資料4 日本経済の現状 資料5 速水議員提出資料 資料6 本間議員提出資料 資料7 経済社会総合研究所長報告要旨
第4回 2月27日(火) 18:00~19:30 官邸大食堂	(1)今後の進め方について (2)経済、財政の基本的課題について (3)その他	資料1 第3回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 経済財政諮問会議における情報の公開等に係る運営細則 資料3 今後の進め方について 資料4 宮澤議員提出資料 資料5 有識者議員提出資料 資料6-1 牛尾議員提出資料 資料6-2 牛尾議員提出資料
第5回 3月14日(水) 17:32~19:18 官邸大食堂	(1)社会保障制度について (2)景気の現状と今後の対応について (3)その他	資料1 第4回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 坂口臨時議員提出資料 資料3 奥田議員・本間議員提出資料 資料4 社会保障関係参考資料 資料5 日本経済の現状 資料6 柳澤臨時議員提出資料
第6回 4月2日(月) 18:00~19:37 官邸大食堂	(1)当面の政策運営について (2)その他	資料1 第5回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 景気の現状について 資料3 速水議員提出資料 資料4 柳澤臨時議員提出資料 資料5 平沼議員提出資料 資料6 有識者議員提出資料 資料7 本間議員提出資料
第7回 4月18日(水) 17:30~19:10 官邸大食堂	(1)景気判断の変更等について (2)社会資本整備について (3)その他	資料1 第6回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 日本経済の現状 資料3 扇臨時議員提出資料 資料4 谷津臨時議員提出資料 資料5 奥田議員・吉川議員提出資料 資料6 社会資本関係参考資料
第8回 5月18日(金) 17:30~19:44 官邸大食堂	(1)基本政策策定に向けた当面の進め方について (2)国と地方の関係について (3)経済の活性化について (4)その他	資料1 第7回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 基本方針策定に向けた当面の進め方(案) 資料3 「新世紀維新のための経済財政政策」(検討すべき論点) 資料4 経済財政諮問会議における議論の概要 資料5 片山議員提出資料 資料6 牛尾議員・本間議員提出資料 資料7 国と地方のあり方参考資料 資料8 雇用拡大専門調査会緊急報告 資料9 坂口臨時議員提出資料 資料10 塩川議員提出資料
第9回 5月31日(木) 18:04~19:40 官邸大食堂	(1)基本方針の構成、及び、経済活性化・社会保障制度・国と地方のあり方・社会資本整備の各分野について (2)その他	資料1 第8回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針(目次案) 資料3 尾身臨時議員提出資料 資料4 平沼議員提出資料 資料5 速水議員提出資料 資料6 片山議員提出資料 資料7 坂口臨時議員提出資料 資料8 武部臨時議員提出資料 資料9 塩川議員提出資料 資料10 本間議員提出資料
第10回 6月11日(月) 17:35~19:15 官邸大食堂	(1)基本方針の分野的テーマ(大学の構造改革、不良債権処理関連)について (2)「基本方針」(素案)について (3)その他	資料1 今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針(素案) 資料2 塩川議員提出資料 資料3 遠山臨時議員提出資料 資料4 柳澤臨時議員提出資料(非公表)
第11回 6月21日(木) 17:33~18:39 官邸大食堂	(1)基本方針の分野的テーマ(社会資本整備)について (2)内閣総理大臣からの諮問第1号について (3)「基本方針」(案)について (4)その他	資料1 第10回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 内閣総理大臣からの諮問第1号 資料3 今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針(案) 資料4 扇臨時議員提出資料

第12回 7月10日（火） 17:32～18:32 官邸大食堂	(1)景気判断について (2)「基本方針」の具体化について (3)その他	資料1 第11回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 日本経済の現状について 資料3 「基本方針」の具体化について（案）
第13回 8月3日（金） 14:36～15:30 官邸大食堂	(1)概算要求基準について (2)構造改革の今後の進め方について (3)専門調査会の設置等について (4)その他	資料1 第12回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 塩川議員提出資料 資料3 有識者議員提出資料（概算要求基準に関する主要論点） 資料4 構造改革の今後の進め方について 資料5 経済財政諮問会議の審議をサポートする体制の強化 資料6 吉川議員提出資料
第14回 8月7日（火） 14:32～15:28 官邸大食堂	(1)概算要求基準について (2)その他	資料1 塩川議員提出資料 資料2 有識者議員提出資料
第15回 8月9日（木） 19:30～20:10 官邸大食堂	(1)「平成14年度一般歳出の概算要求基準の考え方」について (2)景気判断について (3)その他	資料1 第13回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 「平成14年度一般歳出の概算要求基準の考え方」 資料3 日本経済の現状について
第16回 8月28日（火） 17:02～19:19 官邸大食堂	(1)「基本方針」のフォローアップについて (2)その他	資料1-1 第14回経済財政諮問会議議事要旨 資料1-2 第15回経済財政諮問会議議事要旨 資料1-3 「循環型社会に関する専門調査会」専門委員等名簿 資料1-4 「基本方針」フォローアップヒアリングスケジュール（予定） 資料2 「構造改革特別要求」の調整の進め方について 資料3 森山臨時議員提出資料 資料4 遠山臨時議員提出資料 資料5 坂口臨時議員提出資料 資料6 平沼議員提出資料 資料7 尾身臨時議員提出資料 資料8 柳澤臨時議員提出資料
第17回 8月30日（木） 14:30～16:10 官邸大食堂	(1)「基本方針」のフォローアップについて (2)その他	資料1 経済動向分析・検討チーム結果とりまとめ 資料2 片山議員提出資料 資料3 武部臨時議員提出資料 資料4 川口臨時議員提出資料 資料5 石原臨時議員提出資料
第18回 9月4日（火） 16:30～18:10 官邸大食堂	(1)「基本方針」のフォローアップについて (2)景気の現状について (3)その他	資料1 扇臨時議員提出資料 資料2 日本経済の現状について
第19回 9月11日（火） 16:30～17:58 官邸大食堂	(1)構造改革の一層の具体化・加速化と改革先行プログラムについて (2)概算要求及び構造改革特別要求について (3)その他	資料1-1 第16回経済財政諮問会議議事要旨 資料1-2 第17回経済財政諮問会議議事要旨 資料2-1 構造改革の一層の具体化・加速化に向けて 資料2-2 改革のポイント 資料2-3 証券税制の何を改革するべきか 資料3 各大臣が掲げる構造改革のポイント 資料4 「改革先行プログラム」について 資料5 塩川議員提出資料（概算要求） 資料6 福田議員提出資料（構造改革特別要求）
第20回 9月21日（火） 16:32～17:30 官邸大食堂	(1)改革工程表のとりまとめ及び改革先行プログラムの中間取りまとめについて (2)その他	資料1 第18回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 改革工程表（案） 資料3 改革先行プログラム中間取りまとめ（案）
第21回 9月26日（水） 14:32～15:50 官邸大食堂	(1)構造改革特別要求について (2)医療制度改革について (3)その他	資料1 第19回経済財政諮問会議議事要旨 資料2 福田議員提出資料 資料3 坂口臨時議員提出資料 資料4 「改革工程表」・「改革先行プログラム（中間とりまとめ）」の医療分野について
第22回 10月9日（火） 17:35～18:39 官邸大食堂	(1)医療制度改革について (2)今後の進め方について (3)その他	資料1 医療制度の抜本改革に向けて（有識者議員提出資料） 資料2 坂口臨時議員提出資料 資料3 今後の進め方について（案）
第23回 10月19日（金） 17:00～17:45 官邸大食堂	(1)改革先行プログラムについて (2)当面の景気と経済運営について (3)その他	資料1 改革先行プログラム素案 資料2 塩川議員提出資料（平成13年度補正予算の骨格）
第24回 10月26日（金） 17:55～19:13 官邸大食堂	(1)改革先行プログラムについて (2)社会資本整備のあり方について (3)その他	資料1 改革先行プログラム 資料2 社会資本整備のあり方について（有識者議員提出資料） 資料3 農林水産公共事業についての基本的な考え方（武部臨時議員提出資料） 資料4-1 社会資本整備のあり方について（扇臨時議員提出資料） 資料4-2 社会資本整備のあり方について（補足提出資料）（扇臨時議員提出資料）
第25回 11月2日（金） 16:07～17:55 官邸大食堂	(1)中期経済財政計画について (2)予算編成の基本方針について (3)地方財政制度の改革について (4)その他	資料1-1 中期経済財政計画の論点 資料1-2 経済財政モラル（第一次）について 資料2 我が国経済の構造問題と今後の政策的方向について（平沼議員提出資料） 資料3 「平成14年度予算編成の基本方針」の策定に向けて 資料4 21世紀型地方財政制度の確立に向けて一地方にできることは地方へ（有識者議員提出資料）

		資料5 地方財政について(片山議員提出資料) 資料6 経済の現状と今後の政策運営について(有識者議員提出資料)
第26回 11月9日(金) 17:00~19:14 官邸大食堂	集中審議 (1)制度・規制改革と経済の活性化 1. 特殊法人 2. 規制改革	○特殊法人等改革について(石原臨時議員提出資料) ○速水議員提出資料(特殊法人改革関連) ○構造改革促進のための規制改革の考え方について(有識者議員提出資料) ○経済活性化のための規制改正及び統合補助金の拡充について(有識者議員提出資料) ○規制改革による雇用創出型構造改革の強力な推進を(サービス部門における雇用拡大を戦略とする経済の活性化に関する専門調査会 提言) ○規制改革につき早急に取り組むべき重点課題(有識者議員提出資料) ○総合規制改革会議における取組について(宮内総合規制改革会議議長提出資料) ○宮内オリックス株式会社代表取締役会長兼グループCEO 提出資料 ○農業経営形態について(武部臨時議員提出資料) ○制度・規制改革と経済の活性化について(扇臨時議員提出資料)
第27回 11月22日(火) 17:35~18:39 官邸大食堂	集中審議 (1)デフレ対策と不良債権処理 1. デフレ対策 2. 不良債権処理	○不良債権問題早期解決・デフレ阻止のために必要な政策対応(有識者議員提出資料) ○速水議員提出資料(デフレ対策関連) ○当面の金融行政について(柳澤臨時議員提出資料) ○市場関係者からの意見とりまとめ ○高齢者資産の有効活用について(平沼議員提出資料)
第28回 11月22日(木) 17:00~18:50 官邸大食堂	(1)社会保障制度改革について (2)「予算編成の基本方針」及び「中期経済財政計画(仮称)」について (3)当面の政策運営について (4)その他	○循環型経済社会に関する専門調査会中間とりまとめ(同専門調査会提出資料) ○持続可能な社会保障制度の構築に向けて(坂口臨時議員提出資料) ○医療制度の抜本改革に向けて(緊急提言)(有識者議員提出資料) ○持続可能な社会保障制度の確立に向けて(有識者議員提出資料) ○「平成14年度予算編成の基本方針」の主な事項案 ○「中期経済財政計画(仮称)」の策定に向けて留意すべき事項 ○「構造改革の先にもぎず日本の姿」(奥田議員提出資料) ○平成14年度予算の編成等に関する建議(塩川議員提出資料) ○平成13年度第2次補正予算(緊急対応プログラム)についての考え方(竹中議員提出資料) ○政府保有資金を活用した無利子貸付けによる公共投資の推進(塩川議員提出資料) ○第二次補正予算に盛り込むべき事項について(有識者議員提出資料)
第29回 11月26日(月) 17:30~18:38 官邸大食堂	(1)経済活性化、産業空洞化問題等について (2)その他	○産業空洞化の現状と対応策について(平沼議員提出資料) ○経済活性化のための経済政策(有識者議員提出資料) ○経済活性化のための規制改正及び統合補助金の拡充について(有識者議員提出資料) ○構造改革促進のための規制改革の考え方について(有識者議員提出資料) ○規制改革による雇用創出型構造改革の強力な推進を(サービス部門における雇用拡大を戦略とする経済の活性化に関する専門調査会 提言)
第30回 11月27日(火) 17:30~18:32 官邸大食堂	(1)予算編成の基本方針について (2)中期経済財政計画(仮称)について (3)その他	○平成14年度予算編成の基本方針(案) ○予算編成の基本方針の策定にあたっての留意すべき事項(有識者議員提出資料) ○平成14年度予算編成の基本方針の策定に当たって(医療)(有識者議員提出資料) ○構造改革の道すじとそれが目指す日本の姿(仮称)―概要(案)―
第31回 12月4日(火) 18:10~18:20 官邸大食堂	(1)予算編成の基本方針及び構造改革と経済財政の中期展望(仮称)について (2)その他	○内閣総理大臣からの諮問第2号について ○平成14年度予算編成の基本方針 ○構造改革と経済財政の中期展望(仮称)―概要― ○新たな漁場・漁港・漁村の構造改革計画について
第32回 12月10日(月) 15:05~16:08 官邸大食堂	(1)緊急対応プログラム及び第2次補正予算について (2)平成14年度予算編成について (3)日本経済の現状と見通しについて (4)その他	○「緊急対応プログラム」の骨格案 ○平成13年度第2次補正予算の主要案の概要(塩川議員提出資料) ○「平成14年度予算の編成等に関する建議」のポイント(塩川議員提出資料) ○内外経済の現状 ○平成14年度の経済の見通しと経済運営について(有識者議員提出資料)
第33回 12月14日(金) 19:30~19:58 官邸大食堂	(1)緊急対応プログラムについて (2)「平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」及び「構造改革と経済財政の中期展望(仮称)」について (3)その他	○緊急対応プログラム ○「平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の骨子案 ○構造改革と経済財政の中期展望(仮称)―最終とりまとめ案―
第34回 12月19日(水) 15:30~16:13 官邸大食堂	(1)「平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」について(報告) (2)平成14年度予算編成状況について (3)その他	○平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度
第35回 12月25日(火) 11:01~12:07 官邸大食堂	(1)平成14年度予算案について(報告) (2)「構造改革と経済財政の中期展望(仮称)」について (3)その他	○平成14年度予算における「予算編成の基本方針」への対応(塩川議員提出資料) ○構造改革と経済財政の中期展望(仮称)―最終とりまとめ案― ○2001年経済財政諮問会議の議題一覧

(出所) 2001年第35回経済財政諮問会議(12月25日)「2001年経済財政諮問会議の議題一覧」,及び経済財政諮問会議のホームページ(各回議事要旨,第26回,第27回は議事次第)より作成。

(注) 1. 資料および○はすべて配布資料。

2. 官邸大客間とは旧官邸2階北側大客間のこと,大食堂とは1階南側大食堂のこと。

表1-2 経済財政諮問会議の議題と資料（2002年）

開催	議題	配布資料等
第1回 1月18日（金） 18:03～18:30 官邸大食堂	(1)構造改革と経済財政の中期展望について (2)今後の諮問会議の進め方について (3)その他	○内閣総理大臣からの諮問第3号について ○構造改革と経済財政の中期展望（案） ○経済財政諮問会議関連の主なスケジュール（案） ○経済活性化へ向けた重要課題（平沼議員提出資料）
第2回 1月25日（金） 18:00～19:08 官邸大食堂	(1)改革工程表のフォローアップについて (2)今後の諮問会議の進め方について (3)その他	○平成14年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度 ○平成14年度の財務省試算の作成について（塩川議員提出資料） ○改革工程表の進捗状況 ○経済活性化へ向けた重要課題（平沼議員提出資料） ○「経済活性化戦略」の検討について（有識者議員提出資料） ○税制のあり方の検討について（有識者議員提出資料） ○政策金融のあり方の検討について（有識者議員提出資料）
第3回 2月12日（火） 17:34～18:41 官邸大食堂	(1)デフレ問題について (2)今後の諮問会議の進め方について (3)その他	○平成14年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算（塩川議員提出資料） ○デフレ問題についての論点整理 ○日本経済の現状 ○速水議員提出資料（デフレ問題関連） ○プロジェクト「Brand Nippon」（仮称）の実施についての提言
第4回 2月15日（金） 19:00～20:05 官邸大食堂	(1)デフレ対応策に関する総理指示を受けての意見交換	○総理指示（「早急に取り組むべきデフレ対応策」について） ○早急に取り組むべきデフレ対応の項目
第5回 2月27日（水） 17:30～19:25 官邸大食堂	(1)経済の活性化戦略について (2)改革工程表の進捗状況について (3)デフレ対応策について (4)その他	○経済活性化一更なる構造改革に向けて—（有識者議員提出資料） ○これだけ進んだ！ 構造改革：見えてきた小泉構造改革の成果 ○改革工程表の進捗状況について（有識者議員提出資料） ○早急に取り組むべきデフレ対応策 ○デフレ対策について（有識者議員提出資料） ○漁港漁場整備長期計画について（武部農林水産大臣提出資料）
第6回 3月8日（金） 17:40～18:43 官邸大食堂	(1)税制のあり方について (2)その他	○日本経済社会のあるべき姿と税制改革の理念の検討（有識者議員提出資料）
第7回 3月15日（金） 17:30～18:35 官邸大食堂	(1)経済の活性化戦略について (2)税制のあり方について (3)その他	○経済活性化戦略の実施案（有識者議員提出資料） ○経済活性化戦略 ヒアリング状況報告 ○起業・廃業しやすい社会の構築に向けて（有識者議員提出資料） ○プロジェクト「ブランド・ニッポン（仮称）」の推進について（有識者議員提出資料） ○経済活性化・競争力強化に向けた基本的視点（平沼議員提出資料） ○税制のあり方の検討に際しての観点（有識者議員提出資料） ○地方税制を取り巻く現状と課題（片山議員提出資料）
第8回 3月29日（金） 17:33～18:58 官邸大食堂	(1)税制のあり方について (2)その他	○税制改革の検討課題（論点整理）（有識者議員提出資料） ○参考資料 ○「地方分権時代」にふさわしい地方税制の構築（片山議員提出資料） ○経済活性化・競争力強化の観点からの税制のあり方（平沼議員提出資料）
第9回 4月3日（水） 17:00～18:37 官邸大食堂	(1)経済の活性化戦略について (2)その他	○グローバル化への対応（本文、参考資料）（有識者議員提出資料） ○研究・技術開発の活性化について（本文、参考資料）（有識者議員提出資料） ○坂口臨時議員提出資料（厚生労働行政における対応） ○遠山臨時議員提出資料（経済の活性化と大学） ○尾身臨時議員提出資料（科学技術を中心とした経済の活性化方策について） ○平沼議員提出資料（グローバル化による経済活力再生について、技術開発を通じた経済活性化策について） ○塩川議員提出資料（「経済活性化」のための研究開発と税制） ○休日の長期化・分散化の経済効果について
第10回 4月16日（火） 17:00～18:32 官邸大食堂	(1)金融面（不良債権処理等）でのデフレ問題への取組 (2)金融面以外でのデフレ問題への取組 (3)経済の活性化戦略について (4)その他	○デフレ問題への取組（進捗状況） ○特別検査の結果等について（柳澤臨時議員提出資料） ○我が国金融システムの中期的課題（速水議員提出資料） ○特別検査を踏まえた不良債権処理の一層の促進に向けて（有識者議員提出資料） ○デフレ問題克服の進め方について（有識者議員提出資料） ○6月のとりまとめに向けた三原則について（塩川議員提出資料） ○需要創出型構造改革の推進を一構想から推進へ—（島田内閣府特命顧問提出資料） ○経済活性化戦略 ヒアリング報告（概要） ○サービス経済化について（平沼議員提出資料） ○「国民運動」としての経済構造改革と企業改革賞の創設（平沼議員提出資料）
第11回 4月24日（水） 17:00～18:10 官邸大食堂	(1)経済の活性化戦略について (2)政策金融について (3)その他	○電子自治体とアウトソーシングの推進もたらす民間ビジネスの活性化（片山議員提出資料） ○構造改革特区について（有識者議員提出資料） ○「規制改革特区」構想について（平沼議員提出資料） ○政策金融のあり方に関する論点について（有識者議員提出資料）

第12回 5月13日(月) 17:45～19:08 官邸小ホール	(1)経済の活性化戦略について (2)その他	○産業構造改革にむけた緊急提言(平沼議員提出資料) ○産業競争力戦略会議中間とりまとめ(平沼議員提出資料) ○経済活性化戦略 中間整理(有識者議員提出資料) ○ITを活用した経済活性化戦略(片山議員提出資料) ○「ライフスタイルの選択と税制・社会保障制度・雇用システム」について(福田議員提出資料) ○6月のとりまとめに向けた当面の進め方(案)
第13回 5月21日(火) 17:03～18:40 官邸大会議室	(1)社会資本整備のあり方について (2)国と地方の関係について (3)税制のあり方について (4)その他	○扇臨時議員提出資料(社会資本整備関連) ○社会資本整備のあり方について(有識者議員提出資料) ○塩川議員提出資料(土地税制) ○地方財政の構造改革と税源移譲について(試案)(片山議員提出資料) ○国と地方のあり方(論点)(有識者議員提出資料) ○地方の自立のための改革の基本的視点(塩川議員提出資料) ○平成の税制改革—公正、活力、簡素—(有識者議員提出資料) ○塩川議員提出資料(税制改革関連) ○構造改革の進展と企業の取り組み(速水議員提出資料)
第14回 5月30日(木) 17:02～18:52 官邸大会議室	(1)税制のあり方について (2)歳出及び経済活性化戦略について (3)社会保障制度について (4)全体のとりまとめについて (5)その他	○税制調査会の議論の整理(石税制調査会会長提出資料) ○食料産業の構造改革について—「食」と「農」の再生プラン」の推進—(武部臨時議員提出資料) ○食料産業の構造改革について(有識者議員提出資料) ○遠山臨時議員提出資料(人間力戦略関連) ○人間力戦略について(坂口臨時議員提出資料) ○少子・高齢化を見据えた社会保障改革(坂口臨時議員提出資料) ○今後の社会保障制度改革(特に年金制度改革)について(有識者議員提出資料) ○塩川議員提出資料(社会保障制度関連) ○6月の基本方針のとりまとめについて(案)
第15回 6月3日(月) 17:47～19:17 官邸大会議室	(1)平成15年度財政運営について (2)平成15年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針 (3)経済の活性化戦略について (4)その他	○塩川議員提出資料(財政制度等審議会・財政制度分科会「建議」のポイント、平成15年度予算編成の基本的考え方について) ○平成15年度の予算編成について(有識者議員提出資料) ○平成15年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針(案)について(尾身臨時議員提出資料) ○経済活性化戦略(案)
第16回 6月7日(金) 17:00～18:15 官邸大会議室	(1)税制のあり方について (2)平成15年度財政運営について (3)総理指示	○税制改革の基本方針(案) ○平成15年度の財政事情及び財政運営のあり方について(塩川議員提出資料) ○平成15年度の予算編成について(有識者議員提出資料) ○内閣総理大臣指示
第17回 6月13日(木) 19:00～19:20 官邸大会議室	(1)「基本方針—第2弾について」	○経済財政運営と構造改革の基本方針(仮称)(案) ○経済財政の姿と15年度経済財政運営の基本的考え方 ○「動け! 日本」緊急産学官プロジェクト緊急報告
第18回 6月21日(金) 17:35～18:05 官邸大会議室	(1)「基本方針2002」(案)について (2)その他	○内閣総理大臣からの諮問第4号について ○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002(案) ○「活力」重視の税制改革に向けて(有識者議員提出資料) ○予算執行調査について(塩川議員提出資料) ○動け! 日本 日本の優秀企業研究 中間報告要旨
第19回 7月17日(水) 17:32～18:40 官邸大会議室	(1)今後の経済財政運営と「基本方針2002」の推進について (2)その他	○経済財政諮問会議の今後の予定(案) ○構造改革を確実に進めるために(有識者議員提出資料)
第20回 7月26日(金) 16:35～17:40 官邸大会議室	(1)「予算の全体像」について (2)その他	○「予算の全体像」についての有識者議員提案(有識者議員提出資料) ○6月のとりまとめに向けた三原則(第10回諮問会議 塩川議員提出資料)
第21回 8月2日(金) 16:32～18:10 官邸大会議室	(1)「予算の全体像」について (2)概算要求基準について (3)政策金融について (4)その他	○「15年度予算の全体像」(案)(竹中議員提出資料) ○平成15年度概算要求基準について(塩川議員提出資料) ○政策金融改革について(竹中議員提出資料) ○政策金融に関する調査結果報告 ○政策金融について(速水議員提出資料) ○金融システム改革のための政策金融機関の役割(メモ)(柳澤臨時議員提出資料)
第22回 8月6日(火) 17:02～17:38 官邸大会議室	(1)概算要求基準について (2)その他	○平成15年度概算要求基準について(塩川議員提出資料)
第23回 8月28日(水) 16:34～18:55 官邸大会議室	(1)制度・政策改革集中審議について (2)その他	★片山議員提出資料(改革案) ★平沼議員提出資料(改革案) ■今後の「地方税財政制度改革」の検討に当たって(塩川議員提出資料) ■集中審議用参考資料(研究開発プロジェクトの見直し関連 有識者議員提出資料)
第24回 8月29日(木) 16:35～19:16 官邸大会議室	(1)制度・政策改革集中審議について (2)その他	★扇臨時議員提出資料(改革案) ★坂口臨時議員提出資料(改革案) ○参考資料(有識者議員提出資料)

<p>第25回会議 8月30日(金) 17:00～19:40 官邸大会議室</p>	<p>(1)制度・政策改革集中審議について (2)その他</p>	<p>★武部臨時議員提出資料(改革案) ★遠山臨時議員提出資料(改革案) ★尾身臨時議員提出資料(改革案) ○集中審議参考資料(研究開発プロジェクトの見直し関連 有識者議員提出資料) ○参考資料(有識者議員提出資料) ○今次税制改革の検討に当たって(塩川議員提出資料)</p>
<p>第26回会議 9月9日(月) 13:33～15:05 官邸南会議室</p>	<p>(1)制度・政策改革集中審議について (2)構造改革特区について (3)当面の経済情勢について (4)税制のあり方について (5)その他</p>	<p>○集中審議を踏まえた今後の諮問会議での議論について(竹中議員提出資料) ○地方公共団体等からの構造改革特区の提案について(福田議員提出資料) ○緊急提言(有識者議員提出資料) ○税制改革のあり方について(有識者議員提出資料) ○今次税制改革の検討に当たって(塩川議員提出資料)</p>
<p>第27回会議 9月20日(金) 16:31～18:31 官邸大会議室</p>	<p>(1)今後の経済動向等について (2)規制改革について (3)税制改革について (4)金融システム改革(政策金融, 中小企業金融)について (5)その他</p>	<p>○経済動向分析・検討チーム結果とりまとめ ○今後の経済動向について(見通し) ○最近の経済金融情勢について(有識者議員提出資料) ○新規市場・雇用を創出する規制改革(宮内 総合規制改革会議議長 提出資料) ○規制改革の早期実現, 前倒し等に係る措置状況について(石原臨時議員提出資料) ○規制改革について(有識者議員提出資料) ○「あるべき税制」の実現に向けた議論の中間整理(石 政府税制調査会 会長提出資料) ○税制改革のあり方(規模・骨格)について(有識者議員提出資料) ○政策金融の抜本的改革に関する基本方針(案)(有識者議員提出資料) ○中小企業金融について(平沼議員提出資料) ○政策金融改革の基本的考え方について(平沼議員提出資料) ○政策金融機関の改革について(石原臨時議員提出資料) ○政策金融改革について(塩川議員提出資料) ○平成15年度一般会計概算要求額について(塩川議員提出資料)</p>
<p>第28回会議 10月7日(月) 16:33～18:11 官邸大会議室</p>	<p>(1)政策金融の抜本的改革に関する基本方針のとりまとめについて (2)「4つの改革」(金融システム, 税制, 規制, 歳出)の加速について (3)その他</p>	<p>○政策金融の抜本的改革に関する基本方針 ○金融分野緊急対応戦略プロジェクトチームについて(竹中金融担当大臣提出資料) ○4本柱の総合的政策対応の加速(有識者議員提出資料) ○平沼議員提出資料 ○有識者議員提出資料(法人税関係部分)について(塩川議員提出資料)</p>
<p>第29回会議 10月11日(金) 17:04～18:41 官邸大会議室</p>	<p>(1)構造改革特区の進捗状況について (2)平成15年度予算編成について (3)予算執行調査について (4)「税制改革の全体像」等について (5)その他</p>	<p>○構造改革特区推進のためのプログラム(鴻池臨時議員提出資料) ○平成15年度予算編成について(塩川議員提出資料) ○予算執行調査について(塩川議員提出資料) ○会計検査院提出資料 ○来年度税制改革の基本的方向について(塩川議員提出資料) ○税制改革と経済財政政策の運営について(石税制調査会会長提出資料) ○税制改革について(平沼大臣提出資料) ○政策金融機関の活用方針(塩川議員提出資料) ○産業の再編, 事業の早期再生(平沼議員提出資料)</p>
<p>第30回会議 10月17日(木) 15:30～16:37 官邸大会議室</p>	<p>(1)「税制改革の全体像」について (2)金融分野緊急対応戦略プロジェクトチームの経過報告について (3)総合的な対応策の経過報告について (4)その他</p>	<p>○税制改革の全体像 ○片山議員提出資料 ○研究開発減税・投資減税の基本的枠組み(石税制調査会会長提出資料) ○金融分野緊急対応戦略プロジェクトチームについて(竹中金融担当大臣提出資料) ○「総合的な対応策(仮称)」について ○不良債権処理の加速に伴う総合戦略について(有識者議員提出資料) ○平沼議員提出資料 ○金融システム安定化策の推進に伴う雇用面での対応(坂口臨時議員提出資料) ○扇 臨時議員提出資料</p>
<p>第31回会議 10月30日(水) 19:45～20:05 官邸大会議室</p>	<p>(1)総合的な対応策について (2)その他</p>	<p>★金融再生プログラム—主要行の不良債権問題解決を通じた経済再生—(竹中金融担当大臣提出資料) ★改革加速のための総合対応策 ★金融再生と改革の加速に向けて(有識者議員提出資料)</p>
<p>第32回会議 10月31日(木) 17:35～19:10 官邸大会議室</p>	<p>(1)制度・政策改革集中審議のフォローアップについて (2)その他</p>	<p>○事務・事業の在り方に関する意見について(西室地方分権改革推進会議議長提出資料) ○国庫補助負担金の廃止・縮減及びこれに伴う税源移譲の考え方(塩川議員提出資料) ○片山議員提出資料(「国と地方」関係) ○片山議員提出資料(「規制改革」関係) ○義務教育費国庫負担制度に関する論点整理(竹中議員提出資料) ○遠山臨時議員提出資料扇臨時議員提出資料</p>
<p>第33回会議 11月1日(金) 17:00～19:04 官邸大会議室</p>	<p>(1)制度・政策改革集中審議のフォローアップについて (2)その他</p>	<p>○大島臨時議員提出資料 ○農業構造改革の加速化について(有識者議員提出資料) ○坂口臨時議員提出資料 ○川口臨時議員提出資料 ○政府開発援助(OA)について(塩川議員提出資料)</p>
<p>第34回会議 11月8日(金) 17:30～18:55 官邸大会議室</p>	<p>(1)予算編成の基本方針について (2)制度・政策改革集中審議のフォローアップについて(国土交通省) (3)その他</p>	<p>○「平成15年度予算編成の基本方針」の事項案 ○扇臨時議員提出資料 ○社会資本整備のあり方について(有識者議員提出資料)</p>

第35回会議 11月15日(金) 17:30～19:00 官邸大会議室	(1)地球環境に配慮したエネルギー政策について (2)税制調査会、財政制度等審議会報告 (3)マクロ経済情勢について (4)その他	○平沼議員・鈴木臨時議員提出資料 ○鈴木臨時議員提出資料 ○平成15年度税制改革についての基本的考え方(石税制調査会長提出資料) ○財政制度審議会における検討状況等について(塩川議員提出資料) ○日本経済の現況と政策対応のあり方(有識者議員提出資料)
第36回会議 11月20日(水) 17:30～18:35 官邸大会議室	(1)雇用について (2)国と地方について (3)その他	○坂口臨時議員提出資料 ○三位一体の改革について(片山議員提出資料) ○地方の自立のための改革に関する基本的考え方(塩川議員提出資料) ○平成15年度予算の編成等に関する建議(塩川議員提出資料) ○平成15年度における税制改革についての答申—あるべき税制の構築に向けて—(税制調査会答申)
第37回会議 11月22日(金) 17:30～18:35 官邸大会議室	(1)規制改革について (2)平成14年度補正予算の編成方針について (3)平成15年度経済及び「予算編成の基本方針」について (4)「改革と展望」の改定について (5)その他	○規制改革の重点課題—「2次答申」に向けて—(宮内総合規制改革会議議長提出資料) ○規制改革について(有識者議員提出資料) ○内閣総理大臣の談話 ○「改革加速のための総合対応策」を補完・強化する補正予算について(塩川大臣提出資料) ○平成15年度経済について ○平成15年度予算編成の基本方針(案) ○「改革と展望」の改定について 論点整理
第38回会議 11月29日(金) 17:30～19:10 官邸大会議室	(1)平成15年度予算編成の基本方針について (2)金融再生プログラム 作業工程表等について (3)経済活性化戦略の推進について (4)その他	○内閣総理大臣からの諮問第5号について ○平成15年度予算編成の基本方針 ○制度・政策改革集中審議の「予算編成の基本方針」への反映について ○15年度税制改正のあり方と今後の課題について(有識者議員提出資料) ○15年度予算編成の最終プロセスにおける課題(有識者議員提出資料) ○「金融再生プログラム」作業工程表(竹中金融担当大臣提出資料) ○証券市場を巡る諸情勢(株式を中心として)(竹中金融担当大臣提出資料) ○生活産業創出研究会報告書(案)(鳥田内閣府特命顧問提出資料) ○経済活性化戦略の実施状況及び今後の取り組み ○経済活性化戦略のフォローアップ結果について(有識者議員提出資料)
第39回会議 12月5日(木) 17:32～19:04 官邸大会議室	(1)14年度補正予算・改革加速プログラムの骨子について (2)「改革と展望」の改定について (3)政策金融改革について (4)年金制度改革について (5)その他	○「産業発掘戦略—技術革新」4分野に関する戦略(福田議員提出資料) ○改革加速プログラムの骨子 ○日本経済の構造問題と中期的な政策対応—「改革と展望」の改定に向けて— ○「改革と展望」の改定に向けて(有識者議員提出資料) ○政策金融改革について ○坂口臨時議員提出資料 ○年金制度改革について(塩川議員提出資料)
第40回会議 12月13日(金) 17:02～18:35 官邸大会議室	(1)改革加速プログラムについて(報告) (2)政策金融改革について (3)構造改革特区について (4)経済動向について 1.「平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(骨子案) 2.「改革と展望—2002年度改定」(仮称)(素案) 3.浜田 内閣府経済社会総合研究所所長からデフレ等について説明 (5)15年度予算の編成状況について (6)その他	○改革加速プログラム(12月12日経済対策閣僚会議決定) ○政策金融改革について ○規制改革の突破口としての構造改革特区(鴻池臨時議員提出資料) ○構造改革の突破口たる「構造改革特区」の今後の進め方/医療・教育分野等への株式会社参入について(宮内総合規制改革会議議長提出資料) ○特区が実効性をもつために(有識者議員提出資料) ○「平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の骨子(案) ○「改革と展望—2002年度改定」(仮称)(素案) ○デフレ、株価下落、円レートの(浜田 内閣府経済社会総合研究所所長提出資料) ○速水議員提出資料 ○平成15年度予算の基本的方向性について(塩川議員提出資料)
第41回会議 12月20日(金) 15:15～16:03 官邸大会議室	(1)「平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」について(報告) (2)平成15年度予算編成等について (3)観光政策の課題とグローバル観光戦略について (4)その他	○平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度 ○平成14年度補正予算及び平成15年度予算(財務省原案)の関連資料(塩川議員提出資料) ○予算執行調査の反映状況について(塩川議員提出資料) ○政策評価の活用状況(財務省原案)について(塩川議員提出資料) ○扇 臨時議員説明資料
第42回会議 12月25日(水) 14:30～15:00 官邸大会議室	(1)平成15年度予算案等について(報告) 1.平成15年度予算案 2.国と地方に係る経済財政運営と構造改革に関する基本方針 3.国の行政組織等の減量・効率化の推進 (2)「改革と展望—2002年度改定」(仮称)について (3)その他	○平成15年度概算について(塩川議員提出資料) ○国と地方に係る経済財政運営と構造改革に関する基本方針(福田議員提出資料) ○国の行政組織等の減量・効率化の推進(片山議員提出資料) ○制度・政策改革集中審議の成果の具体化について ○「改革と展望—2002年度改定」(仮称)(案) ○平成14年 経済財政諮問会議の議題一覧

(出所) 2002年第42回経済財政諮問会議(12月25日)配布資料「平成14年度経済財政諮問会議の議題一覧」, および経済財政諮問会議ホームページ(各回議事要旨)より作成。

(注) 1. 第23～25回および第31回で, ★は改革案, ■は関連資料, ○は配布資料。

2. その他はすべて配布資料。

3. 首相官邸は2002年4月に新官邸ができ, 使用が開始される。第11回までの官邸大食堂とは旧首相官邸1階南側大食堂のこと, 第12回以降の官邸小ホールとは新首相官邸2階小ホールのこと, 官邸大会議室とは新首相官邸4階大会議室のこと, 南会議室とは新首相官邸3階南会議室のこと。

表 1-3 経済財政諮問会議の議題と資料 (2003年)

開催	議題	配布資料・説明資料
第1回 1月20日(月) 17:47~18:45 官邸大会議室	(1)「改革と展望—2002年度改定」について (2)今後の諮問会議の進め方について (3)その他	○内閣総理大臣からの諮問第6号について ○「改革と展望—2002年度改定」(案) ○平成15年の経済財政諮問会議の課題(有識者議員提出資料)
第2回 1月30日(木) 18:00~18:50 官邸大会議室	(1)「平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」について(報告) (2)今後の諮問会議の進め方について (3)その他	○平成15年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度 ○平成15年の経済財政諮問会議の審議について(竹中議員提出資料) ○企業再編の動き—日本銀行の本支店を通じた企業ヒアリング結果—(速水議員提出資料) ○日本経済の低迷と資金循環(有識者議員提出資料)
第3回 2月17日(月) 17:46~18:54 官邸大会議室	(1)規制改革・構造改革特区について (2)その他	○速水議員提出資料 ○規制改革推進のためのアクションプラン(宮内総合規制改革会議議長提出資料) ○規制改革・構造改革特区の飛躍的な推進に向けて(有識者議員提出資料) ○構造改革特区の検討状況について(鴻池臨時議員提出資料) ○地域活性化と雇用創出
第4回 2月20日(木) 18:18~19:24 官邸大会議室	(1)社会保障制度改革について (2)その他	○速水議員提出資料 ○倒産件数減少の背景(内閣府「今週の指標No.406」より) ○坂口臨時議員提出資料 ○抜本的な社会保障制度改革に向けて(有識者議員提出資料) ○構造改革の進展に関する広報推進について
第5回 3月10日(月) 17:50~19:03 官邸大会議室	(1)予算の構造改革について (2)その他	○予算の構造改革に向けて(有識者議員提出資料) ○塩川議員提出資料
第6回 3月25日(火) 17:30~19:10 官邸大会議室	(1)イラク情勢も踏まえた当面の経済財政及び金融面での運営について (2)構造改革の成果と進捗状況について (3)その他	○イラク情勢が経済に与える影響について(平沼議員提出資料) ○最近の経済動向について ○株式市場の動向等について(竹中金融担当大臣提出資料) ○当面の経済財政及び金融面での運営について(有識者提出資料) ○構造改革レビュー—経済構造改革の成果と進捗状況— ○更なる構造改革に向けて(有識者議員提出資料) ○坂口臨時議員提出資料 ○医療制度改革の進め方について(有識者議員提出資料) ○対日投資会議専門部会報告(案)
第7回 4月1日(月) 17:30~19:10 官邸大会議室	(1)国と地方のあり方の改革に向けて (2)社会保障制度改革(特に年金制度改革)について (3)イラク情勢も踏まえた当面の経済財政及び金融面での運営について (4)その他	○三位一体の改革の進め方について(片山議員提出資料) ○地方の自立のための改革について(塩川議員提出資料) ○国と地方のあるべき姿の実現に向けて(有識者議員提出資料) ○年金制度改革に関する論点整理(有識者議員提出資料) ○坂口臨時議員提出資料 ○年金制度改革について(塩川議員提出資料)
第8回 4月9日(水) 17:30~19:10 官邸大会議室	(1)歳出構造改革について 1. 科学技術政策、文部科学関連 2. 国土交通関連 (2)その他	○科学技術創造立国の実現に向けて(細田臨時議員提出資料) ○「知」の創出、活用の最大化に向けて(遠山臨時議員提出資料) ○扇臨時議員提出資料
第9回 4月16日(水) 17:30~19:13 官邸大会議室	(1)歳出構造改革について(厚生労働関連) (2)社会保障制度改革(特に年金制度改革)について (3)その他	○雇用拡大に向けた総力の結集(有識者議員提出資料) ○雇用面における構造改革への対応について(坂口臨時議員提出資料) ○平沼議員提出資料(人材育成強化、創業・起業の増大) ○アンケート調査でみるフリーターの意識と実態(竹中議員提出資料) ○年金制度改革のあり方について(有識者議員提出資料) ○年金制度改革について(坂口臨時議員提出資料) ○年金制度改革について(塩川議員提出資料) ○年金改革一考察(平沼議員提出資料) ○ここまで進んだ小泉改革
第10回 5月8日(木) 17:00~19:00 官邸大会議室	(1)金融・経済情勢について (2)歳出構造改革と16年度予算編成について 1. 農林水産関連の歳出構造改革 2. 歳出構造改革と16年度予算編成 (3)国と地方のあり方の改革に向けて (4)その他	○SARS(新型肺炎)の影響について(竹中議員提出資料) ○証券市場の活性化について(有識者議員提出資料) ○福井議員提出資料 ○竹中金融担当大臣提出資料—特別検査等の実施結果について— ○農業構造改革の更なる推進について(有識者議員提出資料) ○亀井臨時議員提出資料 ○歳出構造改革と16年度予算編成について(有識者議員提出資料) ○「事務・事業の在り方に関する意見」のフォローアップ結果について(西室地方分権改革推進会議議長提出資料) ○「三位一体の改革」の取りまとめに向けた検討の進め方(本間議員提出資料) ○片山議員提出資料(市町村合併の推進状況と市町村合併促進プラン)
第11回 5月28日(水) 18:00~19:35 官邸大会議室	(1)規制改革の推進について (2)国と地方のあり方の改革に向けて (3)社会保障制度改革について (4)「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」について (5)その他	資料1-1 「規制改革推進のためのアクションプラン」の実施状況について(宮内総合規制改革会議議長提出資料) 資料1-2 亀井臨時議員提出資料(規制改革について) 資料1-3 教育分野における規制改革について(遠山臨時議員提出資料) 資料1-4 総合規制改革会議の重点項目に対する厚生労働省の基本的考え方(坂口臨時議員提出資料) 資料2-1 亀井臨時議員提出資料(国と地方のあり方について) 資料2-2 交通安全対策特別交付金制度について(谷垣臨時議員提出資料) 資料2-3 扇臨時議員提出資料

		<p>資料 2-4 義務教育国庫負担金の取扱いについて（遠山臨時議員提出資料）</p> <p>資料 2-5 地方分権の重点項目に対する厚生労働省の基本的考え方（坂口臨時議員提出資料）</p> <p>資料 3-1 社会保障制度改革のあり方（有識者議員提出資料）</p> <p>資料 3-2 社会保障制度改革の在り方をめぐる問題点について（坂口臨時議員提出資料）</p> <p>資料 3-3 社会保障制度改革について（貝塚社会保障審議会会長提出資料）</p> <p>資料 3-4 医療制度改革の論点について（塩川議員提出資料）</p> <p>資料 4 未来を切り開くための経済活性化対策（平沼議員提出資料）</p> <p>資料 5 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」（目次案）</p>
<p>第12回 6月9日（月） 17:45～19:30 官邸大会議室</p>	<p>(1)社会保障制度改革について</p> <p>(2)資金の流れについて</p> <p>(3)歳出・歳入の構造改革について</p> <p>(4)「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の取りまとめに向けて</p> <p>(5)その他</p>	<p>資料 1-1 社会保障制度改革のあり方（有識者議員提出資料）</p> <p>資料 1-2 社会保障制度改革の在り方をめぐる問題点について（坂口臨時議員提出資料）</p> <p>資料 1-3 社会保障制度改革について（貝塚社会保障審議会会長提出資料）</p> <p>資料 1-4 社会保障制度改革について（塩川議員提出資料）</p> <p>資料 2 資金の流れの改革（有識者議員提出資料）</p> <p>資料 3-1 平成16年度予算編成の基本的考え方について（貝塚財政制度等審議会会長提出資料）</p> <p>資料 3-2 16年度予算編成の基本的考え方について（有識者議員提出資料）</p> <p>資料 3-3 構造改革の推進に向けた総合的な政策展開（片山議員提出資料）</p> <p>資料 3-4 経済活性化対策について（平沼議員提出資料）</p> <p>資料 3-5 新予算編成プロセス「モデル事業」の推進について</p> <p>資料 4-1 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」骨子案</p> <p>資料 4-2 「基本方針2003」に向けて（有識者議員提出資料）</p>
<p>第13回 6月12日（木） 17:00～18:03 官邸大会議室</p>	<p>(1)雇用・教育について</p> <p>(2)「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の取りまとめに向けて</p> <p>(3)その他</p>	<p>○530万人雇用創出プログラム</p> <p>○人間力の向上に向けて（雇用・高等教育制度改革）（有識者議員提出資料）</p> <p>○若者自立・戦略プラン（若者自立・挑戦戦略会議とりまとめ）</p> <p>○キャリア教育総合計画の推進（遠山臨時議員提出資料）</p> <p>○「女性のチャレンジ支援策について」最終報告（概要）（福田議員提出資料）</p> <p>○「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」素案</p>
<p>第14回 6月18日（水） 17:00～17:30 官邸大会議室</p>	<p>(1)国と地方のあり方の改革に向けて</p> <p>(2)規制改革の推進について</p> <p>(3)「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の取りまとめに向けて</p> <p>(4)その他</p>	<p>○「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」原案</p>
<p>第15回 6月26日（木） 17:45～17:52 官邸小ホール</p>	<p>(1)「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」（案）について</p> <p>(2)その他</p>	<p>○内閣総理大臣からの諮問第7号について</p> <p>○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003（案）</p>
<p>第16回 7月17日（木） 18:00～19:00 官邸大会議室</p>	<p>(1)「16年度予算の全体像」について</p>	<p>○「16年度予算の全体像」について（有識者議員提出資料）</p>
<p>第17回 7月29日（火） 17:00～17:44 官邸大会議室</p>	<p>(1)「16年度予算の全体像」について</p>	<p>○16年度予算の全体像（案）（竹中議員提出資料）</p> <p>○平成16年度概算要求基準について（塩川議員提出資料）</p> <p>○平成16年度予算における国庫補助負担金の改革等について（片山議員提出資料）</p>
<p>第18回 7月31日（木） 17:30～17:46 官邸小ホール</p>	<p>(1)16年度予算における新たな手法の導入について</p> <p>(2)平成16年度概算要求基準について</p>	<p>○16年度予算における新たな手法の導入について（有識者議員提出資料）</p> <p>○平成16年度概算要求基準について（塩川議員提出資料）</p>
<p>第19回 9月2日（火） 14:00～15:06 官邸大会議室</p>	<p>(1)16年度予算におけるモデル事業、政策群の検討状況について</p> <p>(2)構造改革の進捗状況について</p> <p>(3)その他</p>	<p>○「モデル事業」とは</p> <p>○平成16年度概算要求における「政策群」について</p> <p>○16年度予算編成におけるイノベーションの推進に向けて（有識者議員提出資料）</p> <p>○構造改革の進捗状況</p> <p>○平沼議員提出資料</p>
<p>第20回 9月26日（金） 17:30～18:33 官邸大会議室</p>	<p>(1)今後の諮問会議の進め方について</p> <p>(2)最近の経済情勢について</p>	<p>○経済財政諮問会議の今後の課題</p> <p>○平成15年度経済動向試算（内閣府試算）について</p>
<p>第21回 10月3日（金） 17:30～19:35 官邸大会議室</p>	<p>(1)郵政民営化について</p> <p>(2)年金制度改革について</p> <p>(3)地域と雇用について</p> <p>(4)その他</p>	<p>○郵政三事業民営化について（田中直毅氏提出資料）</p> <p>○郵政民営化の検討にあたってのポイント（竹中議員提出資料）</p> <p>○郵政事業の現状等について（麻生議員提出資料）</p> <p>○年金制度改革について（坂口臨時議員提出資料）</p> <p>○年金改革についての基本的な考え方（7つのポイント）（谷垣議員提出資料）</p> <p>○年金制度改革による経済・産業への影響（中川議員提出資料）</p> <p>○年金改革の議論にあたってのポイント（有識者議員提出資料）</p> <p>○地域活性化と雇用創出に向けて（有識者議員提出資料）</p> <p>○地域経済活性化と雇用創出（麻生議員提出資料）</p> <p>○地域経済・中小企業の活性化及び雇用創出関連資料（中川議員提出資料）</p> <p>○地域の活性化と雇用創出に向けた厚生労働省の取組み（坂口臨時議員提出資料）</p> <p>★社会資本整備重点計画（案）について（警察庁・農林水産省・国土交通省）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ★土地改良長期計画(案)について(農林水産省) ★廃棄物処理施設整備計画(案)について(環境省) ★平成15年度以降5箇年間の道路の整備の事業量等について(国土交通省)
<p>第22回 10月17日(金) 11:00~11:46 官邸大会議室</p>	<p>(1)行政サービスの民間開放の拡大の検討について (2)集中審議について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行政サービスの民間開放の拡大の検討について ○集中審議について
<p>第23回 11月18日(火) 16:30~18:36 官邸大会議室</p>	<p>(1)集中審議 1 (2)郵政民営化(今後の論点項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国民の信任に応えるために(有識者議員提出資料) ○年金改革のおもな論点(「検討の場」より) ○年金改革について(谷垣議員提出資料) ○医療制度改革について(谷垣議員提出資料) ○年金改革について(中川議員提出資料) ○年金改革のあり方(有識者議員提出資料) ○年金制度改革・社会保障制度改革について(坂口臨時議員提出資料) ○国民の期待に応え、成果のみえる三位一体改革の実現に向けて(有識者議員提出資料) ○三位一体改革の考え方(谷垣議員提出資料) ○「三位一体の改革」の基本的方向(麻生議員提出資料) ○国庫補助負担金の改革について(麻生議員提出資料) ○主要な論点項目(竹中議員提出資料)
<p>第24回 11月21日(金) 17:04~18:55 官邸大会議室</p>	<p>(1)集中審議 2 (2)予算編成の基本方針(事項案)等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○河村臨時議員提出資料 ○義務教育費国庫負担制度の改革について(麻生議員提出資料) ○科学技術に関する現状と課題(茂木臨時議員提出資料) ○石原国土交通大臣説明資料(石原臨時議員提出資料) ○三位一体改革の推進に向けて(有識者議員提出資料) ○「平成16年度予算編成の基本方針」の事項案 ○モデル事業・政策群・特別会計・日米新租税条約について(谷垣議員提出資料) ○政策評価結果の平成16年度予算要求等への反映状況(麻生議員提出資料)
<p>第25回 11月26日(水) 17:40~19:45 官邸大会議室</p>	<p>(1)構造改革評価報告書について (2)集中審議 3 (3)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○構造改革評価報告書—企業・雇用への改革効果の検証と「次の一手」— ○宮内総合規制改革会議議長提出資料 ○構造改革特区について(金子臨時議員提出資料) ○規制改革の課題(有識者議員提出資料) ○「産業発掘戦略—技術革新」4分野に関する戦略 実施状況のフォローアップ(福田議員提出資料) ○地域再生と雇用創出に向けて(有識者議員提出資料) ○地域再生に向けた取組みについて(金子臨時議員提出資料) ○地域の活性化と雇用創出等について(坂口臨時議員提出資料) ○農業の競争力強化等について(亀井臨時議員提出資料) ○中川議員提出資料 1 ○地域再生支援プラン(麻生議員提出資料) ○行政サービスの民間開放等に係る論点について ○国・地方の公務員の定員合理化の強力な推進について(麻生議員提出資料) ○平成16年度予算の編成等に関する建議(谷垣議員提出資料) ○特別会計の見直しについて—基本的考え方と具体的方策—(谷垣議員提出資料) ○「公的債務管理政策に関する研究会」報告書について(谷垣議員提出資料)
<p>第26回 11月28日(金) 17:04~18:59 官邸大会議室</p>	<p>(1)集中審議 4 (2)予算編成の基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○金子臨時議員提出資料 ○竹中金融担当大臣提出資料(竹中議員提出資料) ○中川議員提出資料 ○企業金融円滑化のための日本銀行の施策(福井議員提出資料) ○年金制度改革の論点(竹中議員提出資料) ○年金改革の今後の課題(有識者議員提出資料) ○年金制度改革・社会保障制度改革について(坂口臨時議員提出資料) ○三位一体改革の考え方(谷垣議員提出資料) ○「三位一体の改革」について(麻生議員提出資料) ○平成16年度予算編成の基本方針(案)
<p>第27回 12月5日(金) 16:34~17:20 官邸大会議室</p>	<p>(1)平成16年度予算編成の基本方針について (2)改革と展望—2003年度改定(事項案) (3)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平成16年度予算編成の基本方針(案) ○「改革と展望—2003年度改定」の事項案 ★内閣総理大臣からの諮問第8号について
<p>第28回 12月10日(水) 17:04~18:00 官邸大会議室</p>	<p>(1)平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(骨子案) (2)改革と展望—2003年度改定(原案) (3)平成16年度予算の基本的方向性について (4)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の骨子(案) ○デフレ問題についての論点整理(竹中議員提出資料) ○改革と展望—2003年度改定(原案) ○平成16年度予算の基本的方向性について(谷垣議員提出資料)
<p>第29回 12月19日(金) 17:00~18:03 官邸大会議室</p>	<p>(1)国と地方について 1. 地域再生推進のための基本指針について 2. 平成16年度における三位一体改革(報告) 3. 道州制特区について (2)平成16年度における年金改革(報告) (3)平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(報告) (4)構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定(修正原案) (5)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域再生に向けた取組について(金子臨時議員提出資料) ○道州制を展望した北海道からの提案(高橋北海道知事提出資料) ○年金制度改革について(坂口臨時議員提出資料) ○平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(閣議了解) ○構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定(修正原案) ★三位一体の改革について(三位一体の改革に関する政府・与党協議会) ★平成16年度税制改正大綱(自由民主党・公明党)

<p>第30回 12月25日(木) 17:04～18:03 官邸大会議室</p>	<p>(1)規制改革について (2)平成16年度予算案等について(報告) (3)構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定(案)について (4)産業金融について</p>	<p>○規制改革の推進に関する第3次答申—活力ある日本の創造に向けて— 2003年12月22日の取りまとめに当たって(宮内総合規制改革会議議長資料) ○90年代以降の規制改革の経済効果(内閣府) ○谷垣大臣提出資料 ○国の行政組織等の減量・効率化の推進について(麻生議員提出資料) ○構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定(案) ○竹中金融担当大臣提出資料 ○経済活性化のための産業金融機能強化(改革の方向)(中川議員提出資料) ★16年度予算におけるモデル事業について(財務省) ★16年度予算における「政策群」の活用について(内閣府・財務省) ★経済活性化のための産業金融機能強化策(産業金融機能強化関係閣僚等による会合)</p>
--	--	---

(出所) 経済財政諮問会議のホームページ(各回議事要旨)より作成。

(注) 1. 第20回まで, ○あるいは資料はすべて配布資料。

2. 第21回以降, ○は説明資料, ★は配布資料。

3. 官邸大会議室とは首相官邸4階大会議室のこと, 小ホールとは2階小ホールのこと。

表1-4 経済財政諮問会議の議題と資料 (2004年)

開催	議題	説明資料・配布資料等
第1回 1月16日(金) 16:45~17:15 官邸大会議室	(1)構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定について (2)今後の進め方についての自由討議	○構造改革と経済財政の中期展望—2003年度改定(案) ○平成16年の経済財政諮問会議の課題(有識者議員提出資料) ★内閣総理大臣からの諮問第9号について
第2回 1月27日(火) 18:00~19:00 官邸大会議室	(1)今後の進め方について (2)地域再生構想について	○平成16年の経済財政諮問会議における課題(竹中議員提出資料) ○地域再生構想について(金子臨時議員提出資料) ★平成16年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度
第3回 2月17日(火) 17:45~19:07 官邸大会議室	(1)分権社会の実現[1]—郵政民営化 (2)国民の安全・安心[1]—年金改革法案について	○日本郵政公社の経営改革と今後の課題(生田日本郵政公社総裁提出資料) ○郵政三事業民営化について(田中直毅氏提出資料) ○年金改革法案について(坂口臨時議員提出資料)
第4回 2月27日(金) 18:02~19:09 官邸大会議室	(1)分権社会の実現[2] 1.構造改革特区・地域再生 2.経済情勢(地方の現状)など (2)その他	○地域再生構想提案に対する取組について(金子臨時議員提出資料) ○構造改革特区について(金子臨時議員提出資料) ○地域経済の現状と課題 ★日本改革前線マップ
第5回 3月11日(木) 18:01~19:26 官邸大会議室	(1)新たな成長・雇用機会の創出 1.経済活性化のための改革工程表 2.競争政策について (2)郵政民営化	○経済活性化のための改革工程表 ○競争政策について(竹島公正取引委員会委員長提出資料) ○郵政民営化に向けての考え方(有識者議員提出資料) ○郵政民営化に向けての論点(麻生議員提出資料)
第6回 3月23日(火) 17:30~18:55 官邸大会議室	(1)新たな成長・雇用機会創出[2] 1.新産業創造戦略について (2)郵政民営化	○新産業創造戦略(中間報告)(中川議員提出資料) ○郵政民営化にあたって(窓口ネットワーク事業、郵便事業)(有識者議員提出資料) ○郵政事業民営化(金融分野)に関する論点(麻生議員提出資料) ○郵政民営化に関する論点整理(素案)(竹中議員提出資料) ○郵政民営化に関する基本的論点(谷垣議員提出資料) ○郵政民営化の議論に際しての留意点(麻生議員提出資料) ○郵政民営化の検討にあたっての論点(福井議員提出資料)
第7回 4月7日(水) 18:00~19:10 官邸大会議室	(1)郵政民営化	○郵政民営化に関する論点整理(案) ○谷垣議員提出資料 ○予算制度の改革に向けて(有識者議員提出資料)
第8回 4月21日(水) 17:31~18:58 官邸大会議室	(1)郵政民営化に関する論点整理について (2)予算編成プロセス改革について	○郵政民営化に関する論点整理(案) ○谷垣議員提出資料 ○予算制度の改革に向けて(有識者議員提出資料)
第9回 4月26日(月) 17:47~19:16 官邸大会議室	(1)郵政民営化に関する論点整理について (2)「基本方針2004」について (3)その他	○郵政民営化に関する論点整理 ○骨太2004に向けて(有識者議員提出資料) ○地方分権推進のための「地方税財政改革」(麻生議員提出資料) ○国と地方の改革の推進に向けて(谷垣議員提出資料) ○「国と地方の改革」に向けて(有識者議員提出資料) ○新産業創造戦略 政策骨子(案)(中間報告②)(中川議員提出資料) ○構造改革評価報告書2 ★「ここまで進んだ小泉改革」パンフレット改訂版
第10回 5月11日(火) 18:03~19:09 官邸大会議室	(1)「基本方針2004」に向けて	○マクロ経済からみた構造改革の進展(内閣府) ○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(骨子案) ○基本方針2004に向けて(有識者議員提出資料) ○経済・地域活性化、安心・安全に向けた重点戦略(麻生議員提出資料)
第11回 5月19日(水) 17:50~19:25 官邸大会議室	(1)規制改革について (2)社会保障制度改革について (3)「基本方針2004」に向けて 1.「新産業創造戦略」について (4)その他	○規制改革・民間開放推進会議の主要検討課題について(宮内規制改革・民間開放推進会議議長提出資料) ○規制改革・民間開放の推進のために(有識者議員提出資料) ○平成17年度予算編成の基本的考え方について(谷垣議員提出資料) ○社会保障制度改革等について(坂口臨時議員提出資料) ○社会保障制度の総合的改革に向けて(有識者議員提出資料) ○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(素案) ○新産業創造戦略(中川議員提出資料) ★地方公共団体の行財政改革の推進等行政体制の整備についての意見(地方分権改革推進会議)
第12回 5月28日(金) 17:32~19:00 官邸大会議室	(1)郵政民営化について (2)北海道・道州制特区について (3)「基本方針2004」に向けて	○郵政民営化への最近の取組み状況(内閣官房郵政民営化準備室) ○道州制特区に向けた提案(高橋北海道知事提出資料) ○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(原案)
第13回 6月3日(木) 17:01~17:17 官邸大会議室	(1)「基本方針2004」について	○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(案) ★内閣総理大臣からの諮問第10号について
第14回 6月21日(月) 18:03~18:58 官邸大会議室	(1)郵政民営化について (2)「基本方針2004」の具体化に向けて	○郵政民営化への最近の取組み状況(内閣官房郵政民営化準備室) ○17年度予算に向けて(有識者議員提出資料) ○「日本経済21世紀ビジョン(仮称)」に向けて(有識者議員提出資料) ○サービス分野における雇用の増加について(竹中議員提出資料) ★若者自立・挑戦プランの強化の基本的方向(若者自立・挑戦戦略会議資料) ★地域雇用対策について(坂口臨時議員提出資料)
第15回 7月21日(水) 10:01~11:53 官邸大会議室	(1)郵政民営化について (2)年後半の経済財政諮問会議の進め方について (3)今後の経済動向と「17年度予算の全体像」について	○郵政民営化への最近の取組み状況(内閣官房郵政民営化準備室) ○平成16年後半の経済財政諮問会議の主な議題について(有識者議員提出資料) ○平成16年度年次経済財政報告概要(内閣府)

		<ul style="list-style-type: none"> ○平成16年度経済動向試算（内閣府試算）について（内閣府） ○17年度予算の全体像について（有識者議員提出資料） ○平成17年度予算における基本的な考え方（谷垣議員提出資料）
第16回 7月27日（火） 16:35～18:34 官邸大会議室	(1)「17年度予算の全体像」取りまとめ (2)概算要求基準について (3)郵政民営化について	<ul style="list-style-type: none"> ○17年度予算の全体像 ○平成17年度概算要求基準について（谷垣議員提出資料） ○平成17年度予算における国庫補助負担金の改革等について（麻生議員提出資料） ○郵政民営化の意義について（有識者議員提出資料） ○ユニバーサルサービス義務について（有識者議員提出資料） ○郵政事業をめぐる動向（内閣官房郵政民営化準備室） ○郵政事業のユニバーサルサービス等について（麻生議員提出資料）
第17回 7月29日（木） 17:02～17:30 官邸大会議室	(1)概算要求基準について (2)日本経済21世紀ビジョンの検討課題について	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度概算要求基準について（谷垣議員提出資料） ○「日本経済21世紀ビジョン」での検討の方向性（竹中議員提出資料）
第18回 8月2日（月） 18:35～20:48 官邸大会議室	(1)郵政民営化について	<ul style="list-style-type: none"> ○生田日本郵政公社総裁提出資料 ○民営化の目的に沿った民営化方針の策定（田中直毅氏提出資料） ★郵政民営化の最近の取組状況（内閣官房郵政民営化準備室） ★諸外国の郵政事業の動向（内閣官房郵政民営化準備室）
第19回 8月6日（金） 16:35～18:46 官邸大会議室	(1)集中審議について (2)郵政民営化について	<ul style="list-style-type: none"> ○「基本方針2004」の実現に向けた集中審議について（竹中議員提出資料） ▲民営化基本方針の骨子
第20回 8月24日（火） 17:01～18:56 官邸大会議室	集中審議 (1)教育の基本的あり方 (2)国から地方への改革の加速	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育の改革（河村臨時議員提出資料） ○義務教育における国・地方の役割について（麻生議員提出資料） ○「国庫補助負担金等に関する改革案」の概要等（地方六団体） ○三位一体改革の全体像に向けて（有識者議員提出資料）
第21回 8月26日（木） 16:46～19:08 官邸大会議室	集中審議 (1)郵政民営化 (2)社会保障の一体的見直し等 (3)人間力の強化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○坂口臨時議員提出資料 ○社会保障制度の一体的見直しについて（有識者議員提出資料） ○年金の制度改革について（有識者議員提出資料） ○若者自立・挑戦プランの強化に向けた取組について（河村臨時議員提出資料） ○産業人材の育成・強化について（中川議員提出資料） ○人間力の強化について（有識者議員提出資料）
第22回 8月31日（火） 17:07～19:05 官邸大会議室	集中審議 (1)郵政民営化 (2)国から地方への改革の加速	<ul style="list-style-type: none"> ○郵政民営化の基本方針（素案） ○三位一体改革の推進に向けて（有識者議員提出資料） ○三位一体の改革の全体像について（麻生議員提出資料） ○地方の自立のための改革に関する基本的考え方（谷垣議員提出資料） ○地方六団体の改革案について（谷垣議員提出資料）
第23回 9月7日（火） 17:02～18:59 官邸大会議室	集中審議 (1)郵政民営化 (2)地域再生・構造改革特区 (3)予算制度改革（特別会計改革(1)）	<ul style="list-style-type: none"> ○地域再生の取組について（金子臨時議員提出資料） ○構造改革特区の取組について（金子臨時議員提出資料） ○構造改革特区の一層の推進に向けて（有識者議員提出資料） ○地域経済分析の枠組み（中川議員提出資料） ○特別会計改革に向けて（有識者議員提出資料） ○交付税及び譲与税配付金特別会計の改革のポイント（麻生議員提出資料） ○特別会計改革について（財務省所管）（谷垣議員提出資料） ○特別会計の改革について（坂口臨時議員提出資料） ○特別会計改革について（中川議員提出資料）
第24回 9月10日（金） 13:31～14:55 官邸大会議室	集中審議 (1)郵政民営化 (2)規制改革 (3)予算制度改革（特別会計改革(2)） (4)モデル事業・政策群（報告） (5)日本21世紀ビジョンについて（報告）	<ul style="list-style-type: none"> ○郵政民営化の基本方針 ○宮内規制改革・民間開放推進会議議長提出資料 ○規制改革・民間開放推進のために（有識者議員提出資料） ○特別会計改革に向けて（有識者議員提出資料） ○登記特別会計の改革案（野沢臨時議員提出資料） ○特別会計改革について（亀井臨時議員提出資料） ○特別会計の改革に向けた取組について（石原臨時議員提出資料） ○平成17年度概算要求におけるモデル事業等の取組について（内閣府） ○平成17年度概算要求における政策群の取組について（内閣府） ○「日本21世紀ビジョン」について（内閣府）
第25回 10月5日（火） 16:34～18:05 官邸大会議室	集中審議 (1)郵政民営化 (2)規制改革 (3)予算制度改革（特別会計改革(2)） (4)モデル事業・政策群（報告） (5)日本21世紀ビジョンについて（報告）	<ul style="list-style-type: none"> ○経済財政諮問会議の今後の課題（有識者議員提出資料） ○政策評価の充実に向けて（有識者議員提出資料） ○政策評価結果の平成17年度予算要求等への反映状況（麻生議員提出資料） ○予算編成過程における政策評価の活用について（谷垣議員提出資料） ○社会保障庁の改革について（尾辻臨時議員提出資料） ★郵政民営化への最近の取組状況（資料）（内閣官房郵政民営化準備室）
第26回 10月22日（金） 17:01～19:01 官邸大会議室	(1)郵政民営化について (2)社会保障制度改革について (3)三位一体の改革について	<ul style="list-style-type: none"> ○郵政民営化への最近の取組状況（内閣官房郵政民営化準備室） ○社会保障の一体的見直しに向けて（有識者議員提出資料） ○介護保険制度改革について（尾辻臨時議員提出資料） ○社会保障制度改革について（中川議員提出資料） ○企業活動と公的負担に関する緊急調査について（中川議員提出資料） ○三位一体改革の「全体像」策定に向けて（有識者議員提出資料） ○地方財政計画・地方交付税改革について（有識者議員提出資料） ○三位一体改革の全体像に盛り込むべき交付税改革～その基本的方向（麻生議員提出資料） ○当面の地方財政計画の改革について（谷垣議員提出資料） ○「谷垣議員提出資料に対する見解」（麻生議員提出資料） ★「国と地方の協議の場」関連資料

<p>第27回 11月4日(木) 17:19～18:53 官邸大会議室</p>	<p>(1)社会保障制度改革について (2)教育の基本的あり方について (3)三位一体の改革について (4)その他</p>	<p>○介護保険制度改革について(尾辻臨時議員提出資料) ○一体的見直しの一環としての介護保険制度改革について(有識者議員提出資料) ○甦れ、日本！(中山臨時議員提出資料) ○三位一体改革「全体像」の論点整理—地方財政計画・地方交付税について—(竹中議員提出資料) ★「国と地方の協議の場」関連資料等 ★構造改革評価報告書3(内閣府) ★経済社会統計整備推進委員会について(内閣府)</p>
<p>第28回 11月15日(月) 17:31～19:09 官邸大会議室</p>	<p>(1)三位一体の改革について (2)予算編成の基本方針(事項案)について (3)規制改革(混合診療)について (4)その他</p>	<p>○地方財政計画・地方交付税改革に向けて(竹中議員提出資料) ○三位一体の改革を推進するための地方税財政制度(麻生議員提出資料) ○総務大臣提出資料に関する留意点(谷垣議員提出資料) ○「平成17年度予算編成の基本方針」の事項案 ○「患者本位の医療」の実現のための「混合診療の解禁」(宮内規制改革・民間開放推進会議議長提出資料) ○いわゆる「混合診療」の解禁について(尾辻臨時議員提出資料) ○「混合診療」解禁について(有識者議員提出資料) ★「国と地方の協議の場」関連資料等</p>
<p>第29回 11月25日(木) 17:03～18:32 官邸大会議室</p>	<p>(1)規制改革(市場化テスト)について (2)金融重点強化プログラム(中間論点整理)について</p>	<p>○谷垣議員提出資料 ○「市場化テスト」による官業改革(宮内規制改革・民間開放推進会議議長提出資料) ○「官業の民間開放」を飛躍的に進めるために(有識者議員提出資料) ○「金融重点強化プログラム」(仮称)に向けた中間論点整理(伊藤臨時議員提出資料) ★「三位一体の改革」関連資料 ★平成17年度予算の編成等に関する建議(財政制度等審議会) ★特別会計の見直しについて—フォローアップ—(財政制度等審議会)</p>
<p>第30回 11月26日(金) 19:00～19:17 官邸大会議室</p>	<p>(1)三位一体の改革について(報告) (2)平成17年度予算編成の基本方針(案)について</p>	<p>○平成17年度予算編成の基本方針(案) ★三位一体の改革について(政府・与党)</p>
<p>第31回 12月2日(木) 17:32～18:25 官邸大会議室</p>	<p>(1)平成17年度予算編成の基本方針について (2)経済情勢と定率減税について (3)地域再生について (4)「改革と展望」の改定(事項案)</p>	<p>○平成17年度予算編成の基本方針 ○谷垣議員提出資料 ○地域再生に資する取組みの状況について(村上臨時議員提出資料) ○地域再生の今後の取組について(有識者議員提出資料) ○「構造改革と経済財政の中期展望(改革と展望)—2004年度改定」の事項案 ★内閣総理大臣からの諮問第12号について</p>
<p>第32回 12月8日(水) 17:03～18:26 官邸大会議室</p>	<p>(1)経済情勢と定率減税について (2)中期的な経済財政運営に向けて (3)規制改革(混合診療)について</p>	<p>○中期的な経済財政運営に向けて(有識者議員提出資料) ○国民の視点に立った改革の実行(宮内規制改革・民間開放推進会議議長提出資料) ○いわゆる「混合診療」問題についての基本的考え方(尾辻臨時議員提出資料) ○中医協の在り方の見直しについて(尾辻臨時議員提出資料) ★平成16年7-9月期GDP(二次速報値)及び平成15年度確報について(内閣府)</p>
<p>第33回 12月14日(火) 17:03～17:59 官邸大会議室</p>	<p>(1)社会保障制度の一体的見直しについて (2)「改革と展望」の改定(原案)について (3)平成17年度予算の基本的方向性について</p>	<p>○社会保障の一体的見直しについて(確認事項) ○「社会保障の在り方に関する懇談会・議論の整理」と「経済財政諮問会議における議論」の主なポイント ○社会保険庁、中医協の改革について(有識者議員提出資料) ○社会保険庁改革について(尾辻臨時議員提出資料) ○「構造改革と経済財政の中期展望—2004年度改定」(原案) ○谷垣議員提出資料</p>
<p>第34回 12月20日(月) 13:35～15:37 官邸大会議室</p>	<p>(1)FTAについて (2)教育の基本的あり方について (3)平成17年度政府経済見通しについて(報告) (4)平成17年度予算編成等について</p>	<p>○構造改革の推進を通じたFTAへの取組の強化について(有識者議員提出資料) ○今後の経済連携の方向性について(中川議員提出資料) ○農林水産分野におけるアジア諸国とのEPA推進について(島村臨時議員提出資料) ○中央教育審議会について(鳥居中央教育審議会会長提出資料) ○今後の教育改革について(有識者議員提出資料) ○谷垣議員提出資料 ★平成17年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(平成16年12月20日閣議了解)</p>
<p>第35回 12月24日(金) 17:03～17:42 官邸大会議室</p>	<p>(1)構造改革特区について (2)平成17年度予算案等について(報告) (3)「改革と展望」の改定(案)について (4)その他</p>	<p>○特区において対応不可とされた提案の整理・検討等について(村上臨時議員提出資料) ○構造改革特区の再活性化のために(有識者議員提出資料) ○谷垣議員提出資料 ○平成17年度における三位一体の改革の概要 ○国の行政組織等の減量・効率化の推進について(麻生議員提出資料) ○構造改革と経済財政の中期展望—2004年度改定(案) ★財政投融资改革の総点検について(財政制度等審議会財政投融资分科会) ★経済財政諮問会議議事録の公表について</p>

(出所) 経済財政諮問会議のホームページ(各回議事要旨)より作成。

(注) 1. ○は提出資料, ★は配布資料, ▲は会議中作成資料。

2. 官邸大会議室とは首相官邸4階大会議室のこと。